

地点に所在し、遺構の状態からは第13号窯と第1号窯との連続性は検討できないのである。さらに第1号窯と第2号窯については灰層の重複関係から連続性が確認できるが、第3号窯については不明であり、そのため出土遺物の型式差から、第3号窯が第2号窯よりも新しい時期に属するものと推定し、その結果として第1・2号窯をV期第1小期、第3号窯をV期第2小期として設定したのである。

以上のことから今回の編年におけるIV期第3小期の終了年代と、V期第1小期の開始年代には、ある程度の時間差がある可能性も否定できないが、現段階ではそれを検討すべき資料がないため一応両小期は連続しているものとして論を進めることにする。

V期第1小期の開始年代は、平城宮の土壌SK 870出土の長頸瓶によってある程度の年代をとらえることができる。

この長頸瓶は さきに述べた建物SB 143出土の長頸瓶と比較すれば、胴部全体が丸味をおびたものとなり、肩の張りも弱くなだらかなものとなっている。土壌SK 870出土遺物に関しては、平城宮Vに属するものとして、実年代では770年から780年を中心として想定されている。

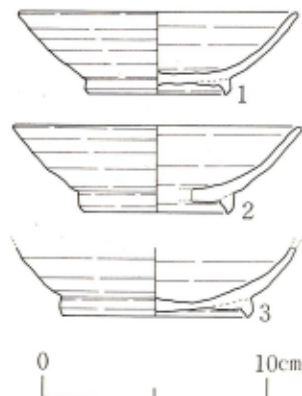
美濃須衛古窯跡群で土壌SK 870出土の長頸瓶と類似する資料が出現するのは、現段階ではV期第1小期後半からである。そこでV期第1小期後半の開始年代の上限を8世紀第4四半世紀とすることができる。

だがここでも問題がある。それは長頸瓶の胴部全体が丸味をおびて肩の張りも弱くなる傾向は、すでにIV期第3小期後半にみられるのであり、V期第1小期前半には該当資料は出土していないが、おそらく前後の関係からみて存在するものと考えられる。

以上のことから現段階ではIV期第3小期の終了とV期第1小期の開始の年代を時期的に幅を持たせて8世紀末から9世紀初頭の段階に想定しておきたいと思う。

次にV期第2小期の開始年代については、現在まったく検討すべき資料がない。そこで最後にV期第2小期の終了年代を考えてみたい。

V期第2小期の基準資料とした稲田山古窯跡群第3号窯の窯体内からは、流れ込みの遺物と



挿図2 稲田山古窯跡群第3号窯出土灰釉陶器

して灰釉陶器碗が多数出土している(挿図2)。この灰釉陶器碗は、底部外面が回転ヘラケズリの後回転ナデ調整を施し、高台外側は内彎して下部をヘラで面取り調整するものもみられる。体部外面下部には回転ヘラケズリはみられない。灰釉は刷毛塗りにより底部内外面を除く体部に施されている。しかし口縁端部には強い外反はみられないことから、おそらく猿投山西南麓古窯跡群における黒笹90号窯式の新しい段階、あるいは折戸53号窯式の古い段階に位置づけることができよう。<sup>(註20)</sup> また、美濃窯の灰釉陶器編年に対比させれば、光ヶ丘1号窯式から大原2号窯式にかけての時期に位置づけられようか。そし<sup>(註21)</sup>

て実年代に関しては、10世紀中葉の段階が想定される。

これらのことから、第3号窯の須恵器生産は10世紀前半には終了していたと考えることができる。そして美濃須衛古窯跡群における須恵器生産の終了年代も10世紀前半にその下限が求められ、以後灰釉陶器の生産が美濃須衛古窯跡群においても主力となるのである。

以上で美濃須衛古窯跡群の須恵器編年と各時期の年代比定についての検討を終える。はじめにも述べたように美濃須衛古窯跡群に対する調査研究は、近年になってようやく本格化してきた状況であり、今回の須恵器編年もあくまで現時点における資料をもとにした試案であることは言うまでもないことである。今後、資料の蓄積と須恵器の技術的な面からのより深い検討を重ねて、完成度の高いものにしてゆきたいと考えている。

また美濃須衛古窯跡群の初源期の様相、灰釉陶器への転換期の問題、さらには美濃須衛古窯跡群における灰釉陶器の展開から中世以降の動向についても、今後に残された課題は多いのである。

註1. 榑崎彰一『老洞古窯跡群発掘調査報告書』岐阜市教育委員会・昭和56年

註2. 大江命『稲田山古窯跡群発掘調査報告書』各務原市教育委員会 昭和56年

註3. a. 中村浩「陶邑Ⅰ—本文編—」『大阪府文化財調査報告書』第28輯 大阪府教育委員会 1976  
240～257頁

b. 斎藤孝正「7.付猿投窯の編年について」『愛知県古窯跡群分布調査報告(Ⅲ)』愛知県教育委員会 1983 62～70頁

註4. 奈良国立文化財研究所編「飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ」『奈良国立文化財研究所学報』第31冊 奈良国立文化財研究所 昭和53年 97～100頁

註5. 註4と同

註6. 榑崎彰一「後期古墳時代の諸段階」『名古屋大学文学部 十周年記念論集』名古屋大学文学部 1958 515頁

註7. 註4と同

註8. 老洞古窯跡群においては、無台坏身B類とされている。荻野繁春「第V章 出土遺物の検討 1. 分類と類型別モデルの設定」『老洞古窯跡群発掘調査報告書』岐阜市教育委員会 昭和56年 18頁

註9. 註4と同

註10. 奈良国立文化財研究所編「平城宮発掘調査報告Ⅶ」『奈良国立文化財研究所学報』第26冊 奈良国立文化財研究所 昭和51年 別表5

註11. a. 大江命「第3章歴史時代の遺跡・遺物 第4節 古代・中世の古窯跡・7 地獄洞古窯跡群」『各務原市史』考古・民俗編 考古 各務原市教育委員会 昭和58年 789～797頁

b. 荻野繁春「第V章 出土遺物の検討 2. 各窯の器種構成と器種別特質」『老洞古窯跡群発掘調査報告書』岐阜市教育委員会 昭和56年 34頁

註12. 荻野繁春「第IV章 7・8世紀代の須恵器編年—美濃国・尾張国—」『老洞古窯跡群発掘調査報告書』岐阜市教育委員会 昭和56年 80～105頁

註13. 奈良国立文化財研究所編「平城宮発掘調査報告Ⅳ」『奈良国立文化財研究所学報』第17冊 奈良国立文化財研究所 昭和37年 32頁

註14. 本書付図参照

註15. 註10と同じ

- 註16. 大江 命「第3章 歴史時代の遺跡・遺物 第4節 古代・中世の古窯跡 4. 稲田山古窯跡群」  
『各務原市史』考古・民俗編 考古 各務原市教育委員会 昭和58年 763～768頁・769～778頁
- 註17. 奈良国立文化財研究所編「平城宮発掘調査報告II」『奈良国立文化財研究所学報』第15冊 奈良  
国立文化財研究所 昭和37年 70頁
- 註18. 本書付図参照
- 註19. 奈良国立文化財研究所編「平城宮発掘調査報告VII」『奈良国立文化財研究所学報』第26冊・奈良  
国立文化財研究所 昭和51年 94・95頁
- 註20. 斎藤孝正「猿投窯における灰釉陶の展開」『月刊考古学ジャーナル』No.211 ニュー・サイエンス  
社 1982 47～52頁
- 註21. 田口昭二「美濃窯の灰釉陶器と緑釉陶器」『月刊考古学ジャーナル』No.211 ニュー・サイエンス  
社 1982 60～64頁

付表1 『各務原市史』(考古・民俗編 考古)所収の美濃須衛古窯跡群

遺跡名	所在地	出土遺物	現状	備考
柄瓦窯跡群	那加柄山町	軒丸瓦 軒平瓦 丸瓦 平瓦 鷗尾瓦 花文瓦 花鳥文瓦 文字瓦	消滅	No.100~103
南洞古窯跡群	尾崎南町2 那加福平			No.99
1号窯	＊	灰釉陶器(碗)	消滅	
2号窯	＊		＊	
尾崎大平古窯跡群	尾崎北町3~5			No.94~98
1号窯	＊	須恵器(坏身・坏蓋・盤類・高坏・壺類・甗・円面硯・成 形具・土鍬)	発掘調査 後消滅	No.98はS47年 発掘調査
2号窯	＊	須恵器(坏類・蓋類・高坏・壺類・甗類・鉢類・丸 面硯・土鍬)	＊	
3号窯	＊	灰釉陶器(碗類・皿類・鉢類)窯道具	＊	
蘇原北山古窯跡群	蘇原北山町	須恵器(無台坏身・有台坏身・坏蓋・高坏・甗)灰釉陶器	消滅	No.89
加佐見山古窯跡群	蘇原伊吹町	須恵器(有台坏身・坏蓋) 灰釉陶器(皿)	消滅	No.93
飛鳥瓦窯跡群	蘇原飛鳥町	平瓦 丸瓦	消滅	No.90・91
飛鳥田神社古窯跡群	蘇原清住町	須恵器(小壺・坏身・蓋類・高盤・壺類・甗類)灰釉陶器 類 瓦類 陶馬	消滅	No.87・88
市立古窯跡群	須衛町1			No.80
1・2号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身・坏蓋・碗・盤・皿・高坏・ 壺瓶類・鉢類・甗・成形具)		
市立南古窯跡群	須衛町2			No.75~78・81・ 82
1号窯	＊	須恵器(坏身・高坏・壺類・横甗・甗・土鍬)	消滅	
2号窯	＊	灰釉陶器(蓮華座)	＊	
稲田山北古窯跡群	須衛町3・5			No.45~74
3号窯	＊	須恵器(坏蓋・碗)	消滅	
4号窯	＊	須恵器(有台坏身・坏蓋)		
9号窯	＊	須恵器(有台坏身・壺類)		
11号窯	＊	須恵器(有台坏身・坏蓋)		
13号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身・坏蓋・碗・盤)		
14号窯	＊	須恵器(有台坏身)		
15号窯	＊	須恵器(有台坏身・坏蓋)		
17号窯	＊	須恵器(坏蓋・鉢類)		
18号窯	＊	須恵器(無台坏身)		
19号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身)		
20号窯	＊	須恵器(甗)		
稲田山古窯跡群	須衛町7			No.29~44
1号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身・蓋類・盤類・皿類・高坏・ 碗類・壺類・鉢類・甗類・陶馬・成形具)	発掘調査 後消滅	No.37~41はS 49年発掘調査
2号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身・蓋類・盤類・高坏・碗類・ 皿類・壺類・鉢類・甗)	＊	
3号窯	＊	須恵器(無台坏身・有台坏身・蓋類・碗・盤・皿・鉢類・ 甗・陶馬)	＊	



遺跡名	所在地	出土遺物	現状	備考
4号窯	須衛町7	須恵器(無台环身・有台环身・环蓋・盤・高环・壺類・陶馬)	発掘調査後消滅	
5号窯	*	灰釉陶器(碗・皿類・馬爪・焼台)	*	
6号窯	*	須恵器(有台环身・环蓋・碗)	*	
7号窯	*	須恵器(無台环身・盤・皿・鉢類)	*	
8号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・环蓋・盤・皿・鉢・甌・甗)	*	
9号窯	*	灰釉陶器(碗・小皿類・壺類・鉢類)	*	
10号窯	*	須恵器(有台环身・蓋類・碗・高环・盤・壺類・鉢類・甗類・その他)	*	
11号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・壺類・横瓶・鉢類・甗類・陶塔)	*	
12号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・盤類・皿類・高环・壺類・鉢類・甗・陶馬・土鍾)	*	
13号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・碗類・盤類・皿・高环・壺類・鉢類・甗・甗類・円面硯・陶塔・陶馬)	*	
14号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・碗類・高环・盤類・壺類・鉢類・円面硯)	*	
15号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・盤類・皿類・高环・壺類・鉢類・甗類)	*	
16号窯	*	灰釉陶器(碗・壺類・小型环 鎌)	*	
須衛宮東古窯跡群	須衛町7	瓦類		No.86
会本八幡神社古窯跡群	須衛町8	須恵器(無台环身・有台环身・碗・壺類・鉢類・甗・甗類)		No.84・85
地獄洞古窯跡群	須衛町字地獄洞	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・盤類・高环・壺類・鉢類・甗・甗類・陶馬・土鍾)	発掘調査後消滅	No.25 S47年発掘調査
太田古窯跡群	須衛町字太田	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・盤類・壺類・甗類)		No.26-28
天狗谷古窯跡群	須衛町字天狗谷			No.17-24
1号窯	*	白瓷系陶器(碗類・皿類・鉢類)施釉陶器(壺類・甗類)窯道具		
2号窯	*	須恵器(有台环身・环蓋・皿・高环・壺類・鉢類・円面硯)		
3号窯	*	白瓷系陶器		
寒洞古窯跡群	須衛町字寒洞	須恵器(有台环身・蓋類・盤類・横瓶・壺類・甗類)	発掘調査後消滅	No.16 S58年発掘調査
車洞古窯跡群	須衛町字車洞	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・盤類・壺類・甗類)		No.9
各務東山古窯跡群	各務東町5	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・碗類・皿類・高杯・鉢類・壺類・甗類)灰釉陶器(碗類・皿類)		No.10・11・14
東町古窯跡群	緑苑地内	不明	不明	No.1
窯洞古窯跡群	つつじが丘4		発掘調査後消滅	No.4 S47年発掘調査
1号窯	*	須恵器(無台环身・环蓋・甗類)		
松田古窯跡群	松が丘3		発掘調査後消滅	No.5・6・8
1号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・蓋類・壺類・鉢類)瓦類	発掘調査後消滅	No.6はS46年発掘調査
2号窯	*	須恵器(無台环身・有台环身・环蓋・高环・盤類・壺類・鉢類・成形具)	*	

\* 備考欄の番号は表1美濃須衛古窯跡群分布調査表の番号を、本付表の古窯跡群に比定したものである。

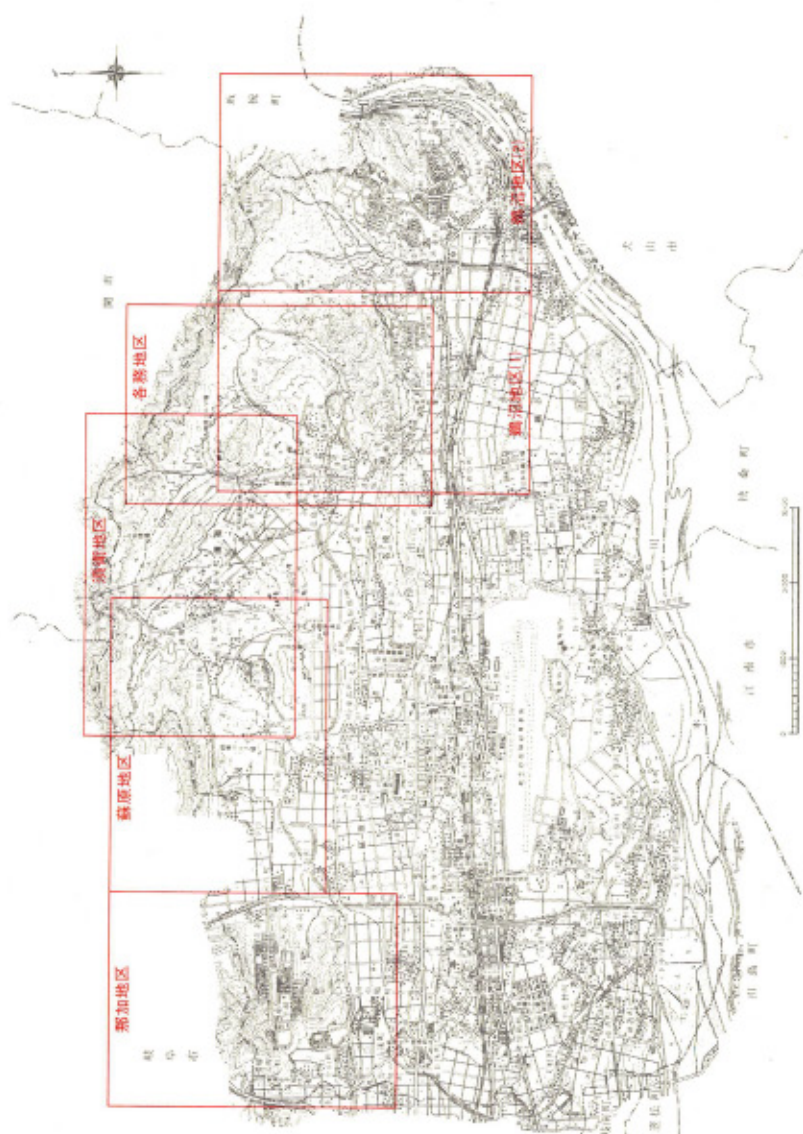
付表2 美濃須衛古窯跡群関係文献目録

1. 大正2	美濃国に於ける古瓦出所地 (2)	小川栄一	考古学雑誌 3-9
2. 大正3	美濃国に存する古代窯址	小川栄一	" 5-4
3. 大正14	美濃国那加村発見の文字瓦及紋様瓦	林 魁一	" 15-11
4. 昭和3	奈良時代の瓦窯址発見	林 魁一	" 18-2
5. 昭和3	古市場古代陶器窯址	小川栄一	岐阜県史蹟名勝天然 紀念物調査報告書3
6. 昭和3	柄山古代瓦窯址	小川栄一	"
7. 昭和38	須衛の地名と窯業について	白木林一	各務村史
8. 昭和39	古代窯業と柄山窯址	小林義徳	那加町史
9. 昭和41	鶉沼の窯跡	栗木謙二 吉田 勲	鶉沼の歴史
10. 昭和47	地獄洞古窯址発掘調査概報	地獄洞窯址発掘 委員会	各務原市教育委員会
11. 昭和49	関市北部の古窯址群	吉田英敏外	関市教育委員会
12. 昭和50	関市十六所古窯発掘調査報告書	大江 命外	"
13. 昭和51	美濃古陶の流れ	榎崎彰一	美濃の古陶
14. 昭和51	美濃須衛・関地区	吉田英敏	"
15. 昭和54	古窯跡	榎崎彰一	岐阜市史 史料編 考古・文化財
16. 昭和55	岐阜県各務原市須衛出土の白瓷蓮華座	吉田英敏	古代文化32-8
17. 昭和56	老洞古窯跡群発掘調査報告書	榎崎彰一外	岐阜市教育委員会
18. 昭和56	稲田山古窯跡群発掘調査報告書	大江 命	各務原市教育委員会
19. 昭和56	美濃須衛窯における瓷器の様相 (1)	吉田英敏	岐阜県考古 8
20. 昭和58	古代・中世の古窯跡	大江 命	各務原市史 考古・ 民俗編 考古

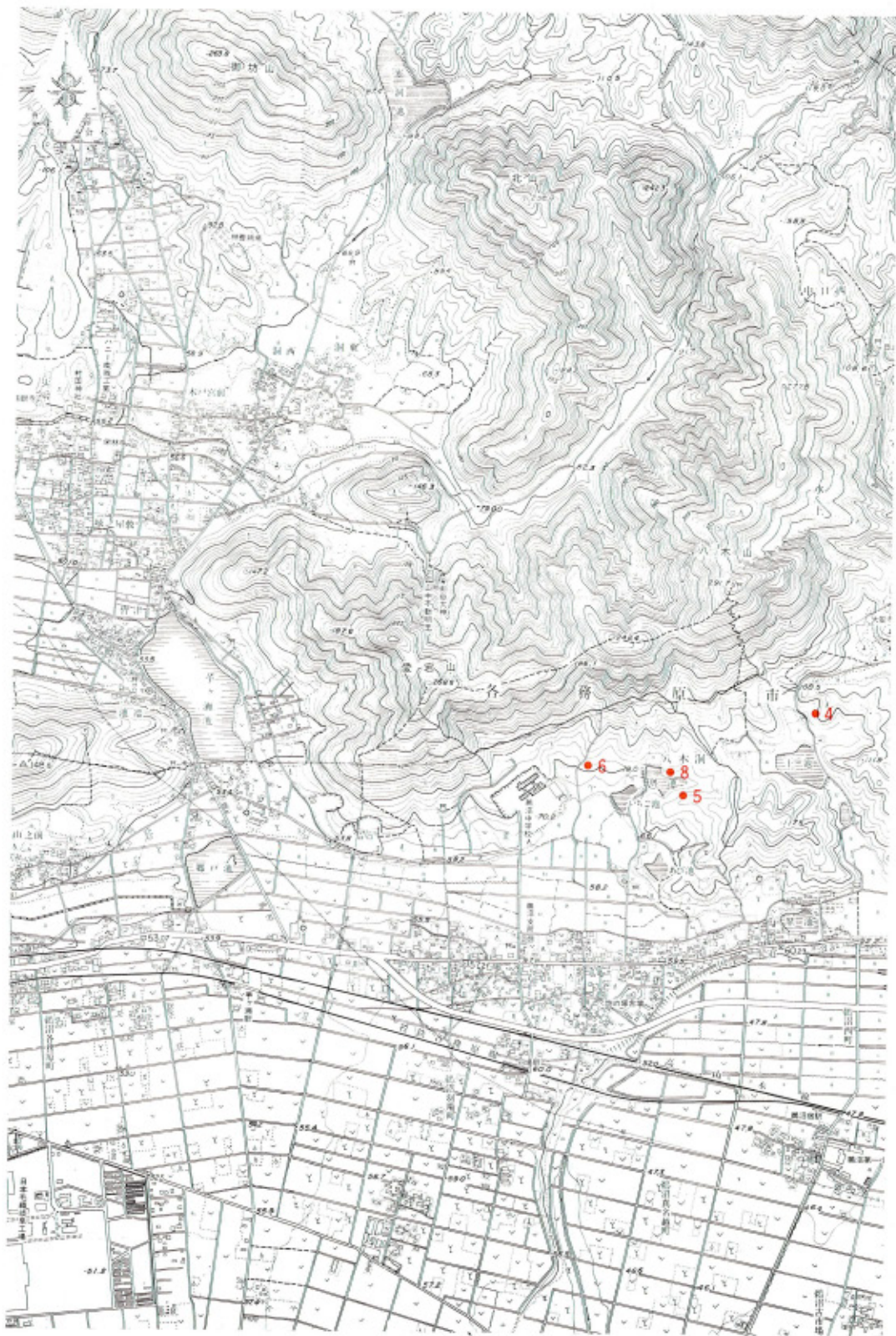
# 版 圖







美濃須衛古窯跡群区分図



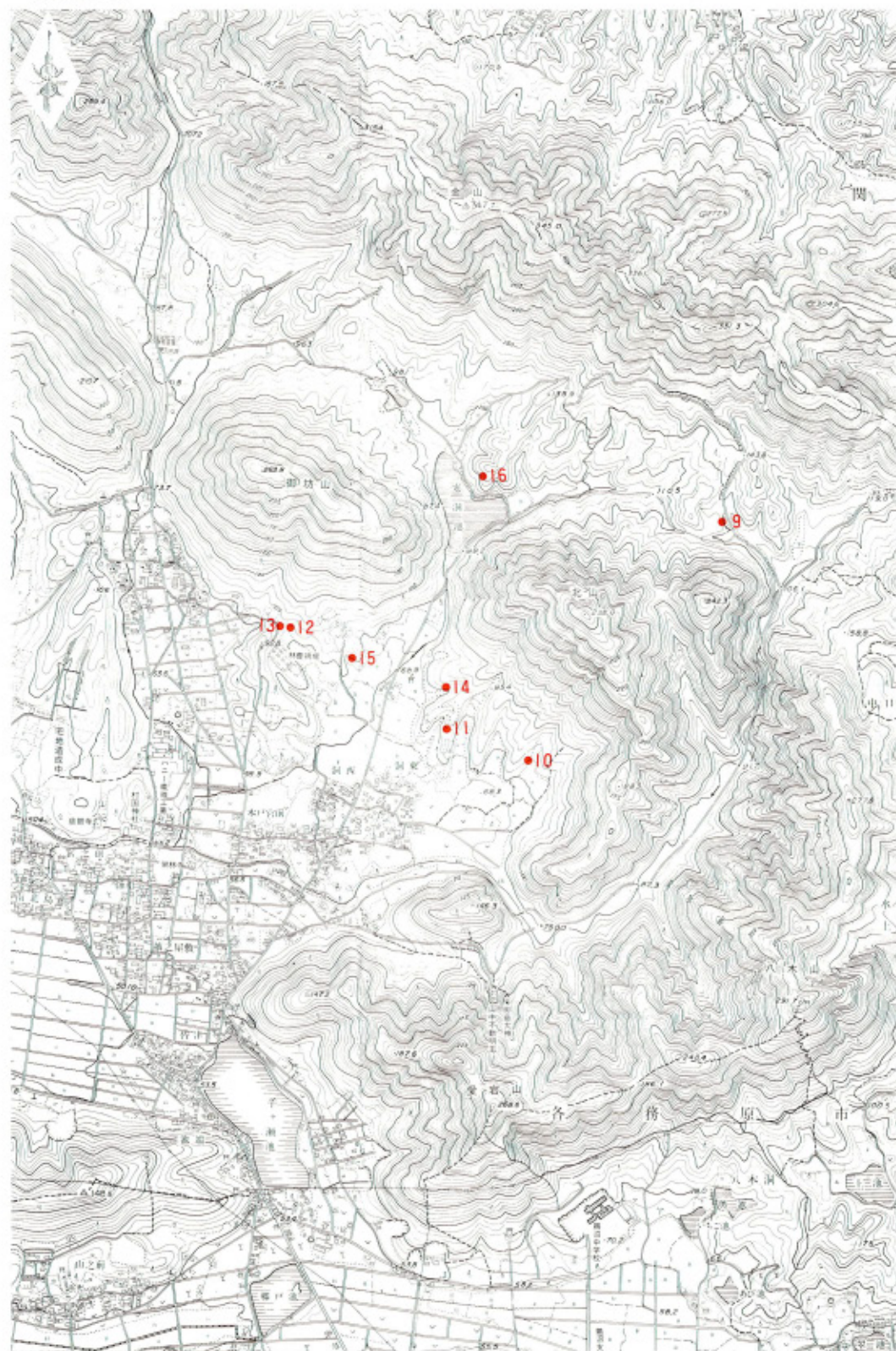
鹤沼地区窯跡分布图(1)





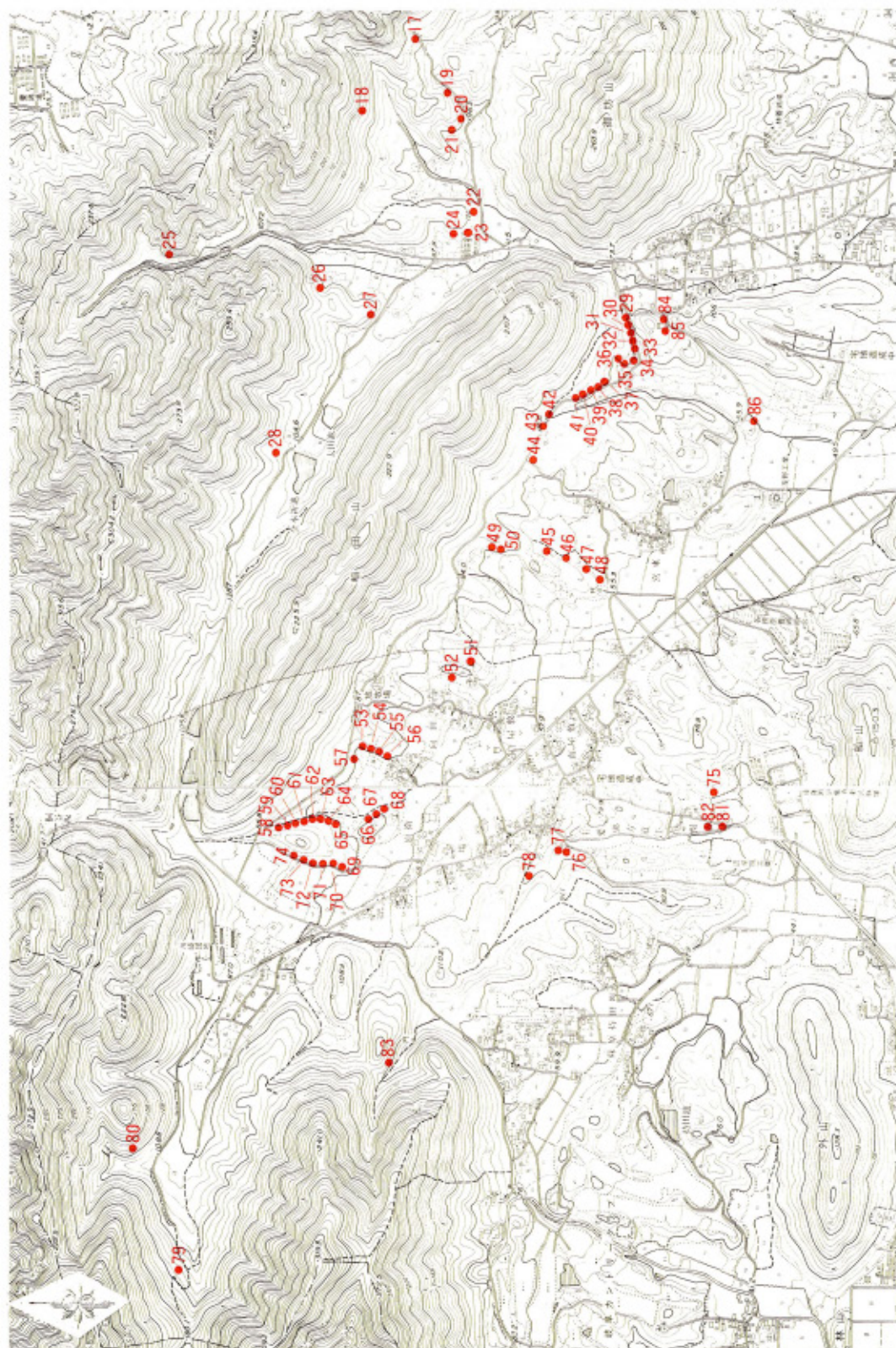
鹤沼地区窟迹分布图(2)





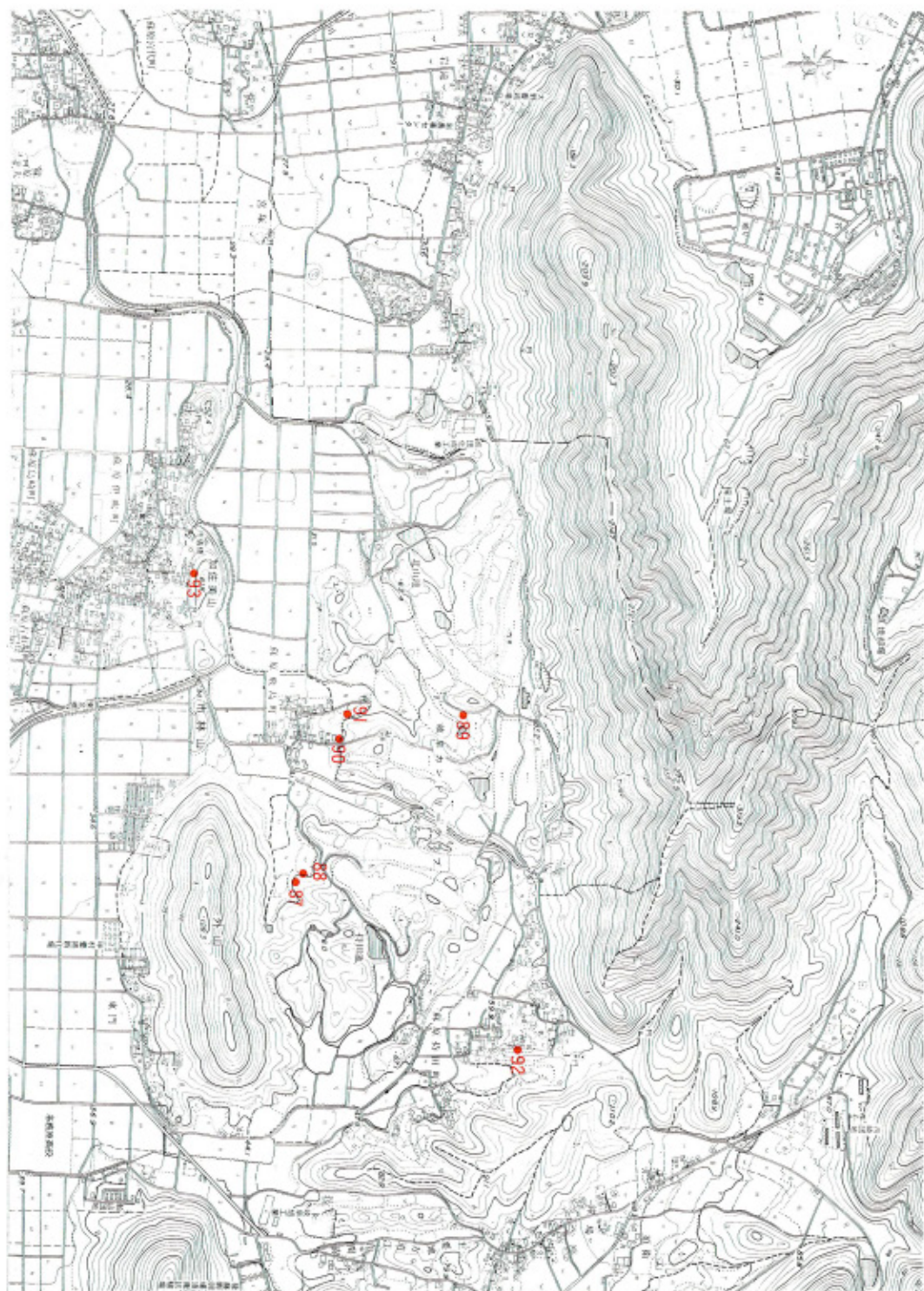
各務地区窯跡分布図





須衛地区窯跡分布図





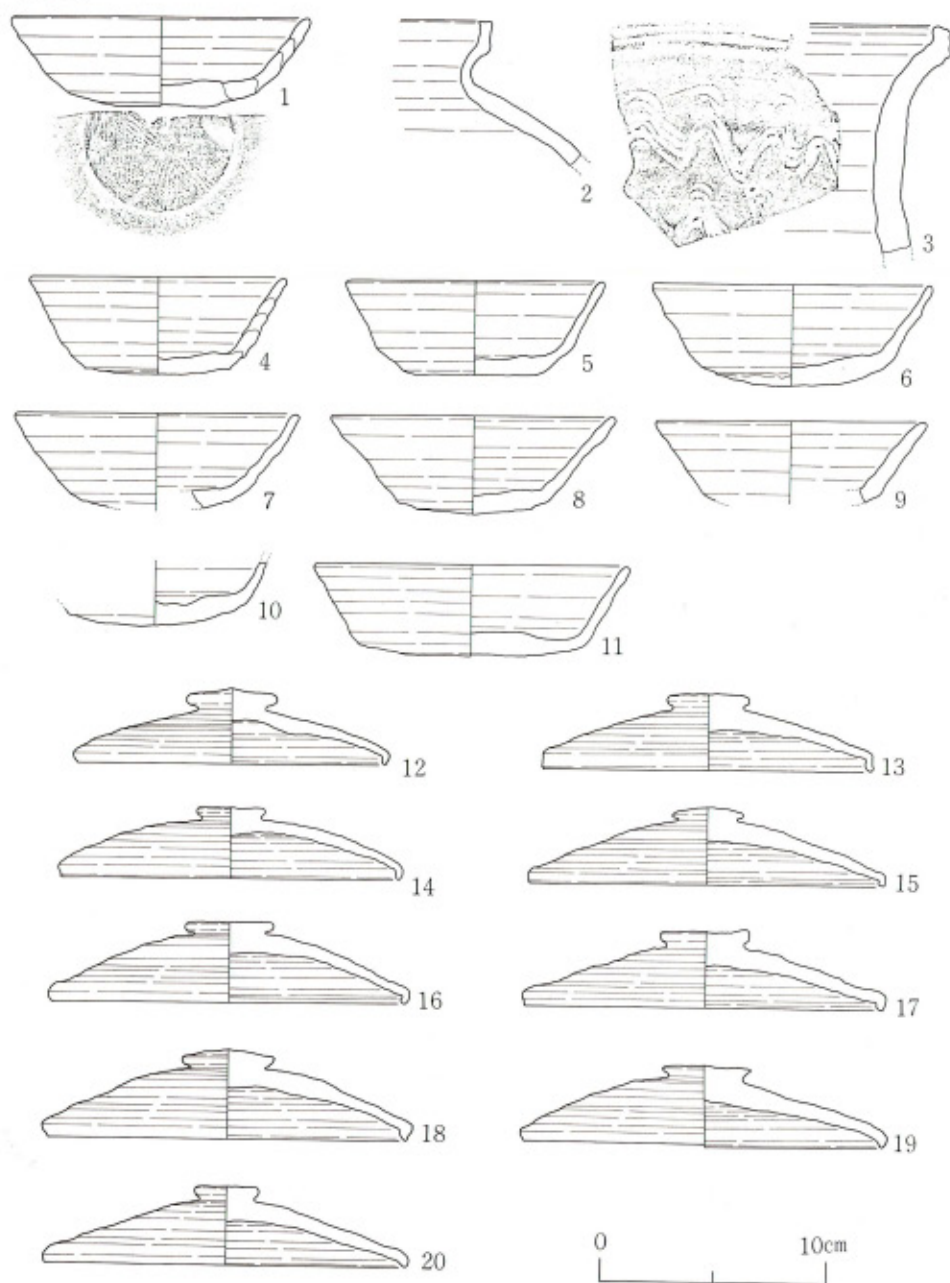
蘇原地区窯跡分布図





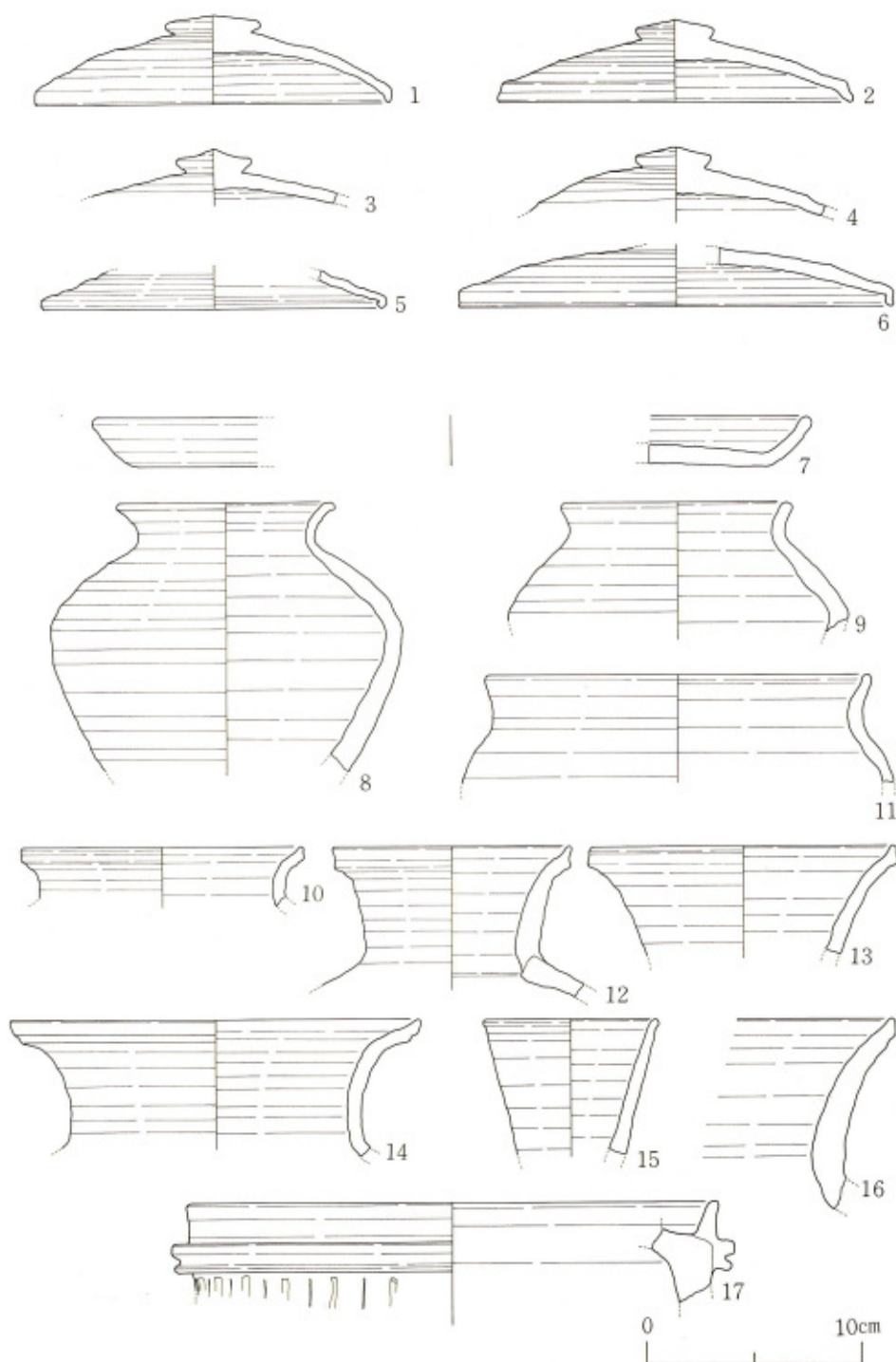
那加地区炭跡分布图

図版 8



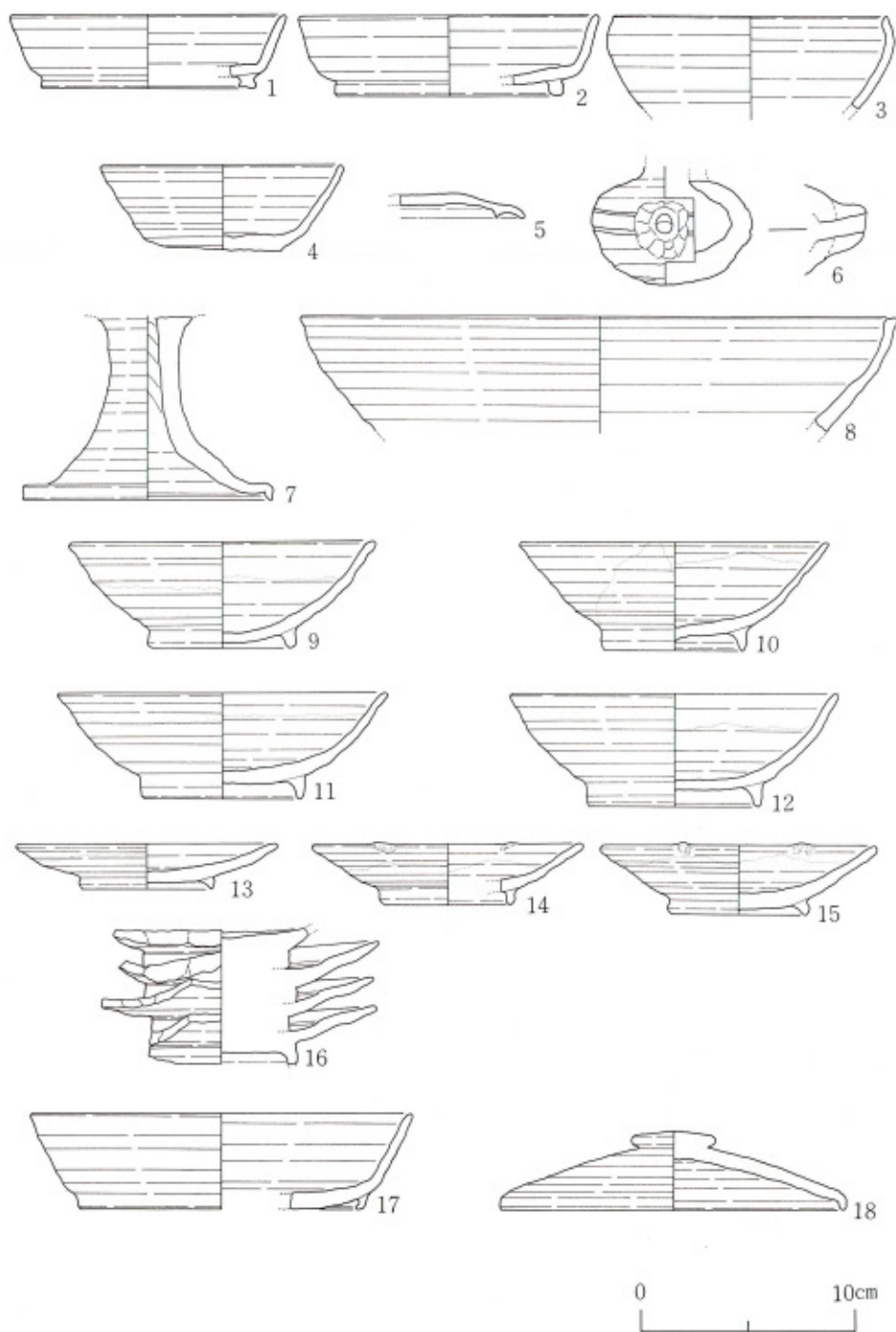
鶴沼6号窯(1~3), 鶴沼8号窯(4~20)出土遺物実測図



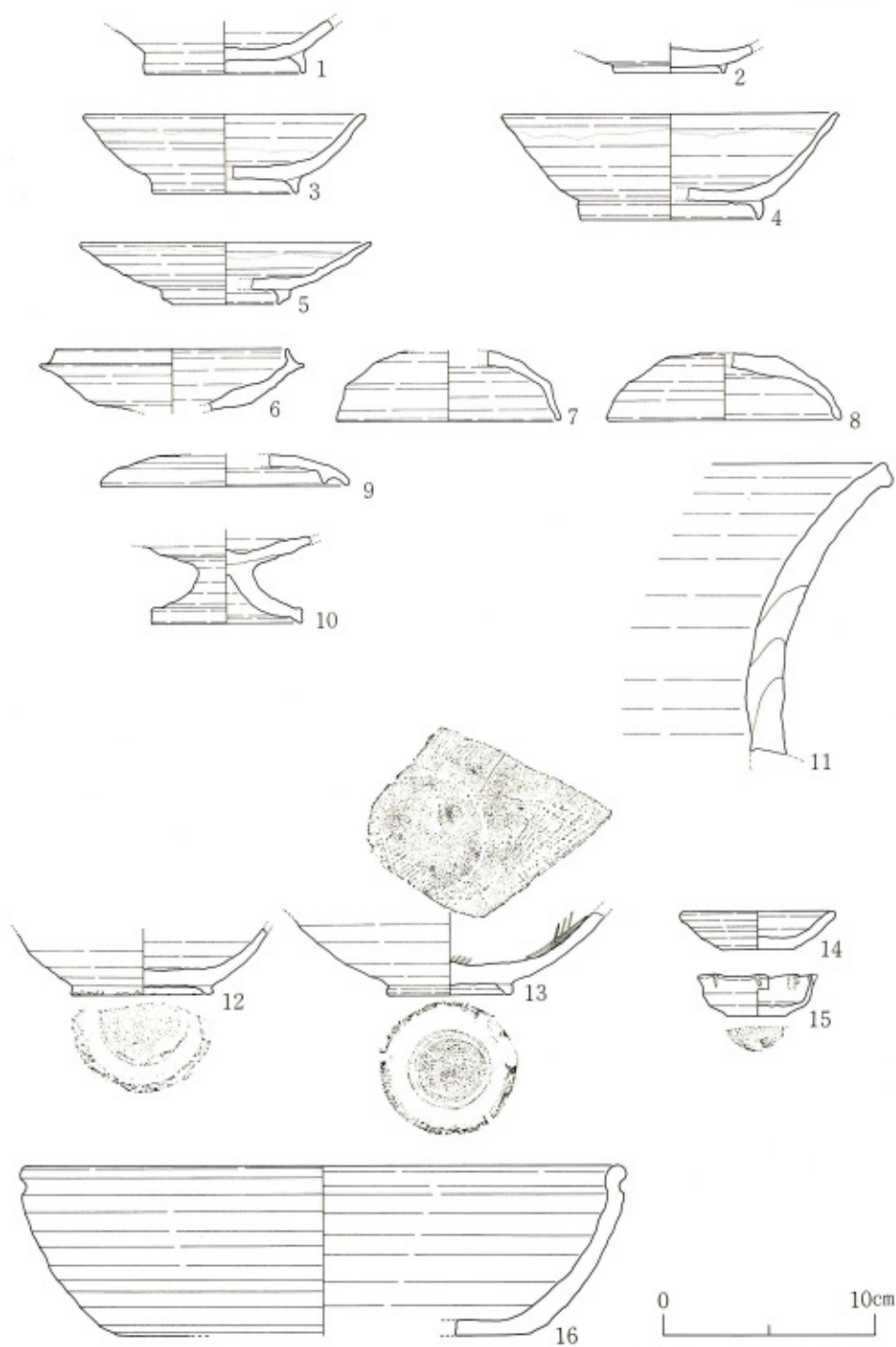


鹤沼 8 号窯出土遺物実測図

图版10

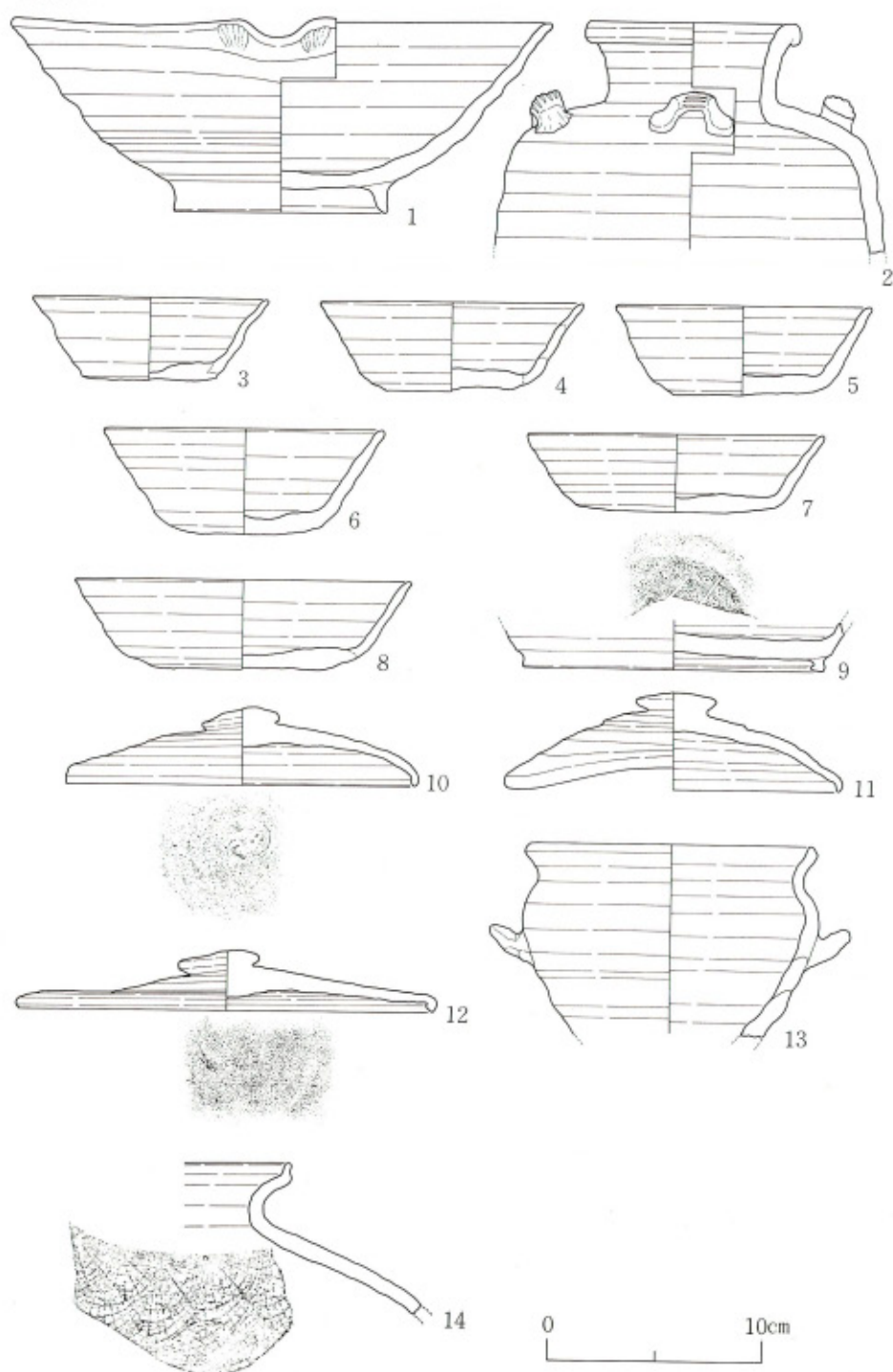


各務1号窯(1~3),各務2号窯(4~8),各務3号窯(9~16),各務4号窯(17·18)出土遺物実測図



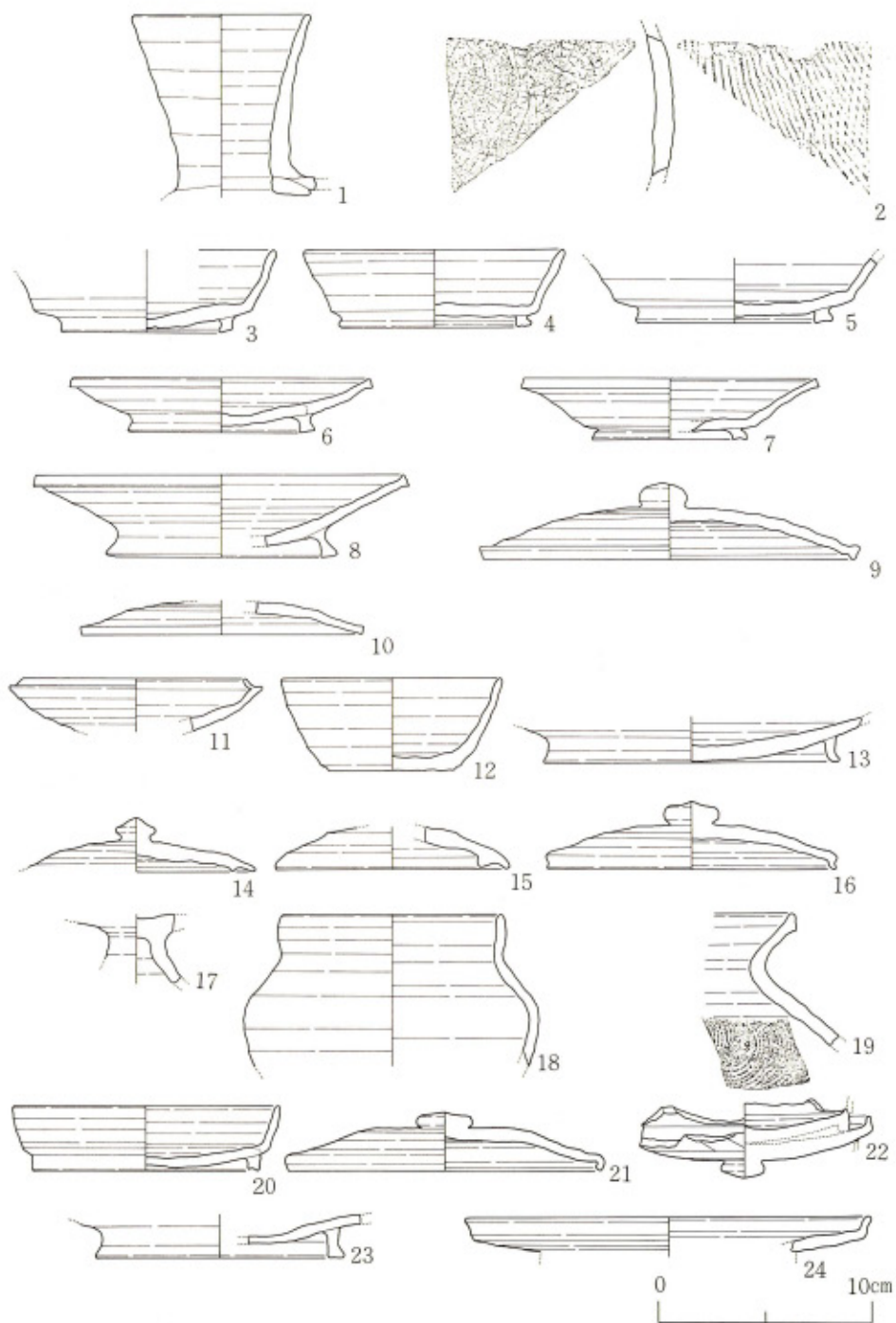
各務5号窯(1・2), 各務6号窯(3~5), 各務7号窯(6~11), 須衛1号窯(12~16)出土遺物実測図

図版12

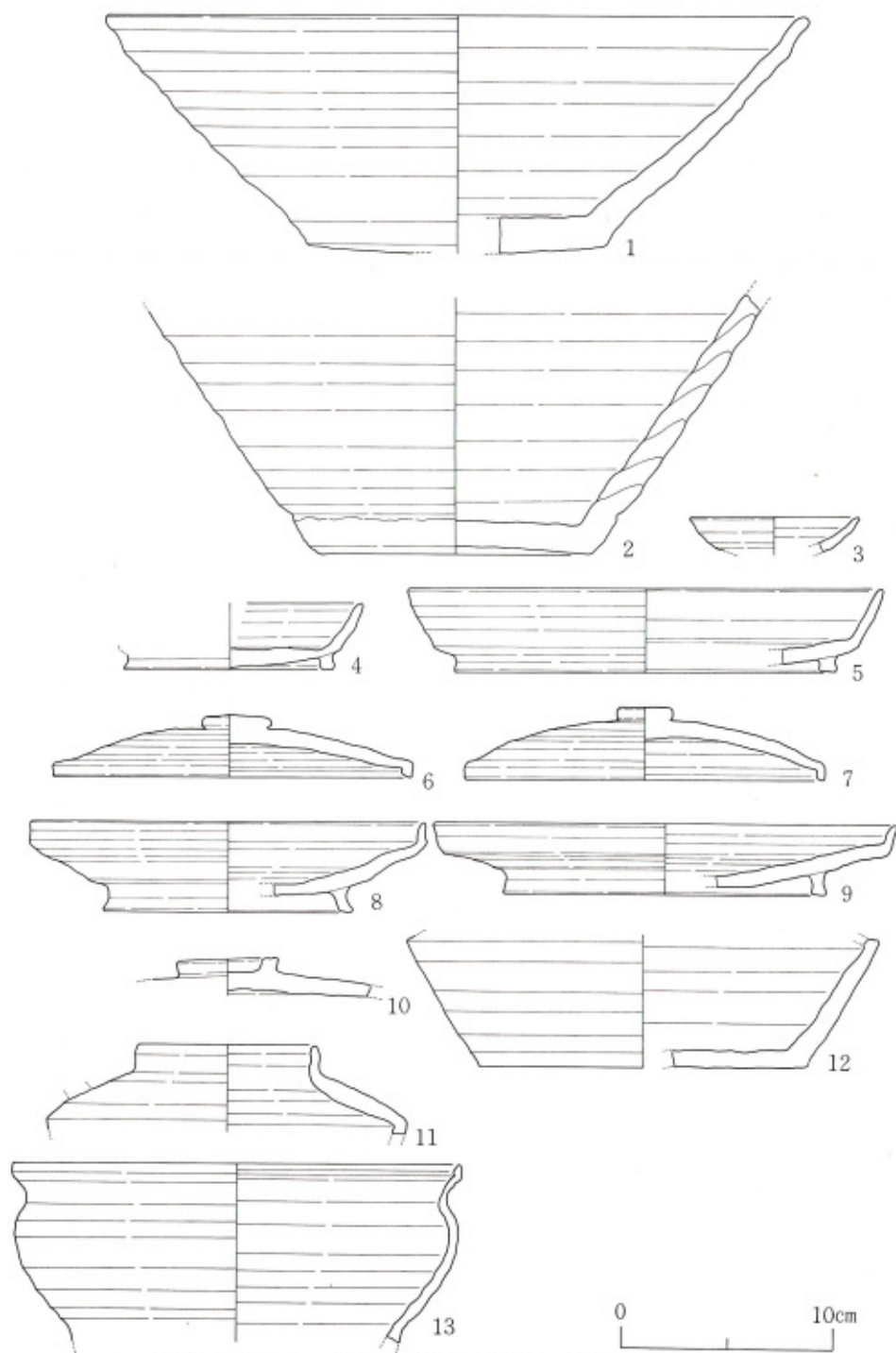


須衛1号窯(1・2), 須衛2号窯(3~14)出土遺物実測図

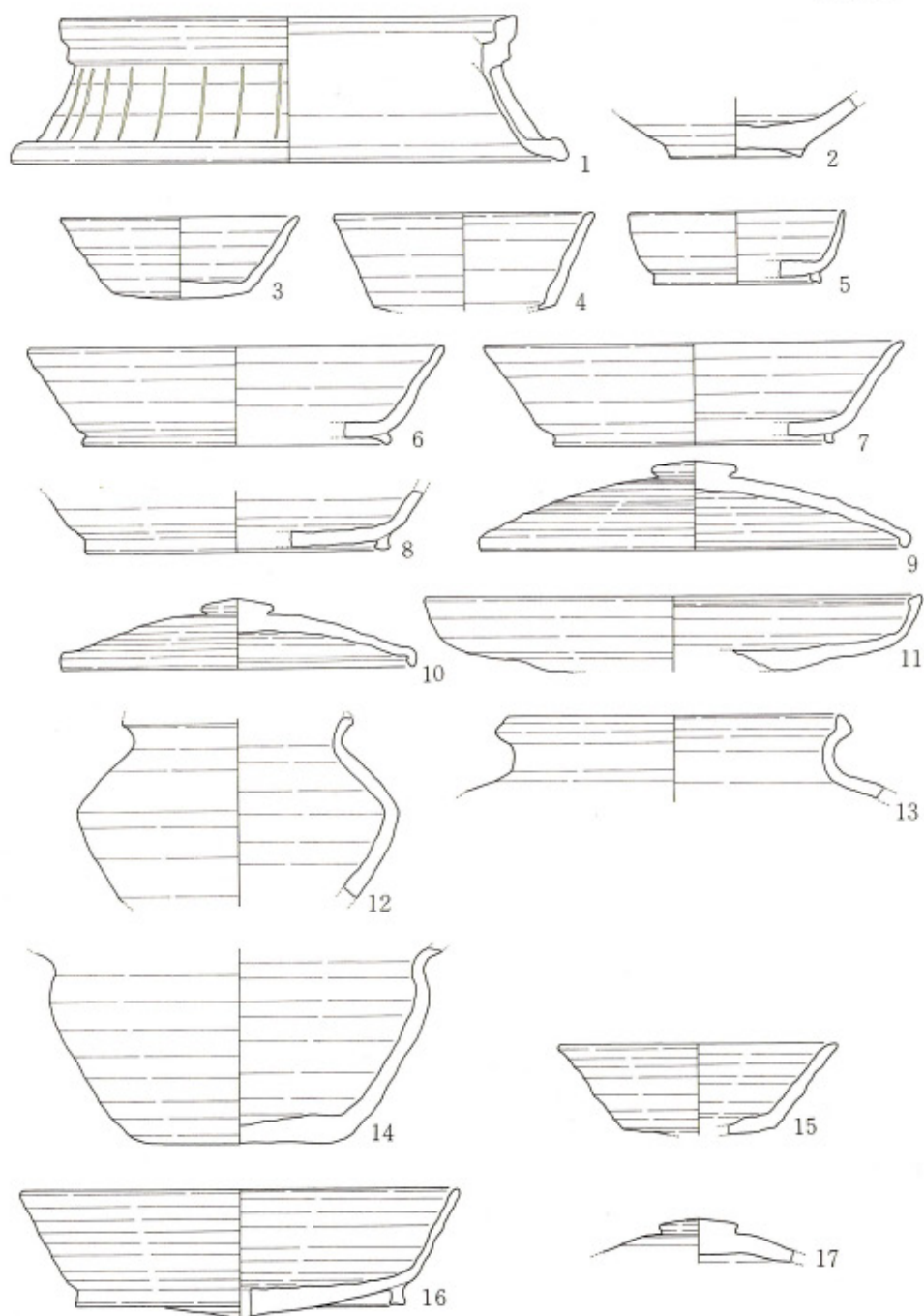




須衛2号窯(1・2), 須衛3号窯(3~10), 須衛4号窯(11~19), 須衛5号窯(20~24)出土遺物実測図

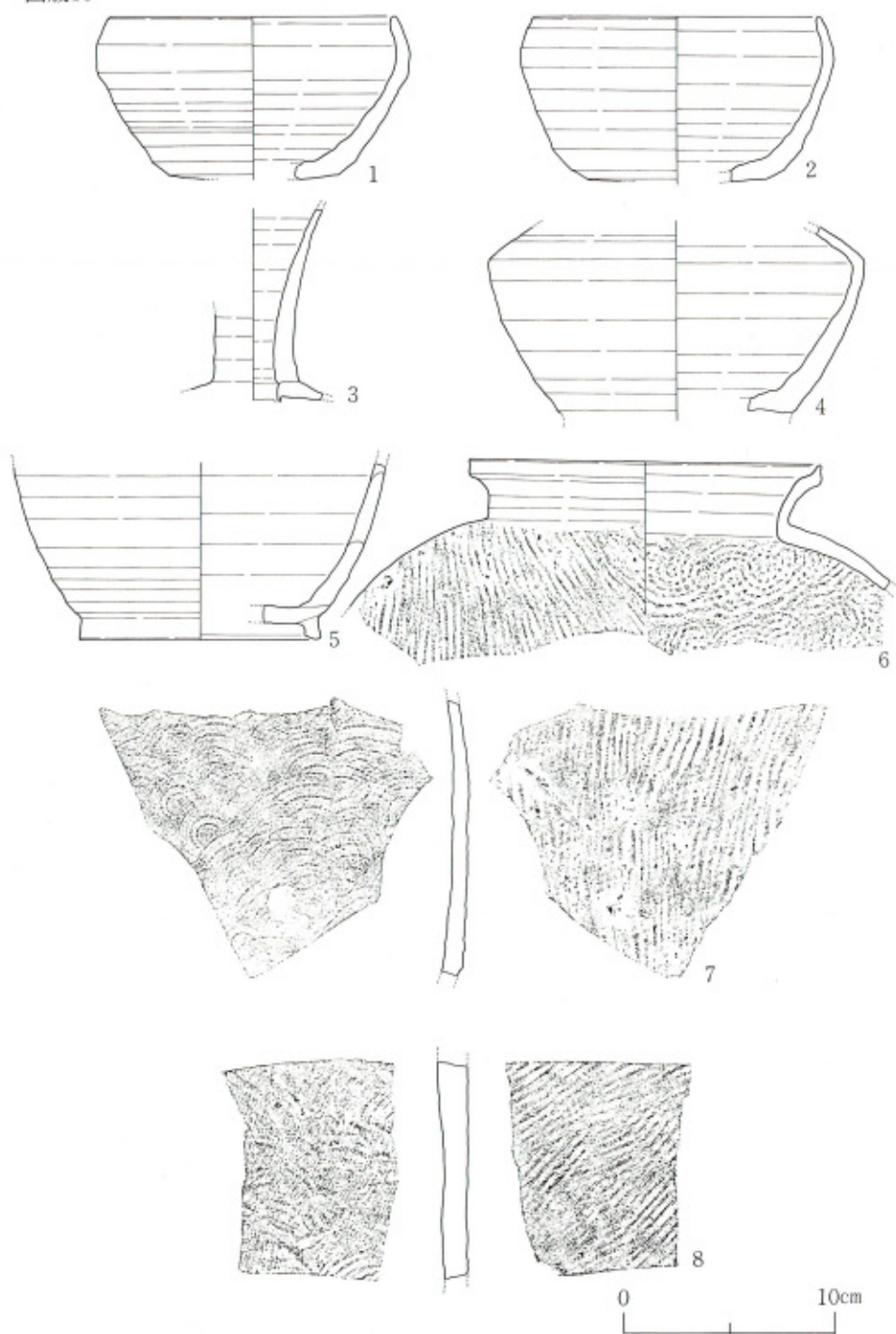


須衛6号窯(1~3), 須衛7号窯(4~12)出土遺物実測図

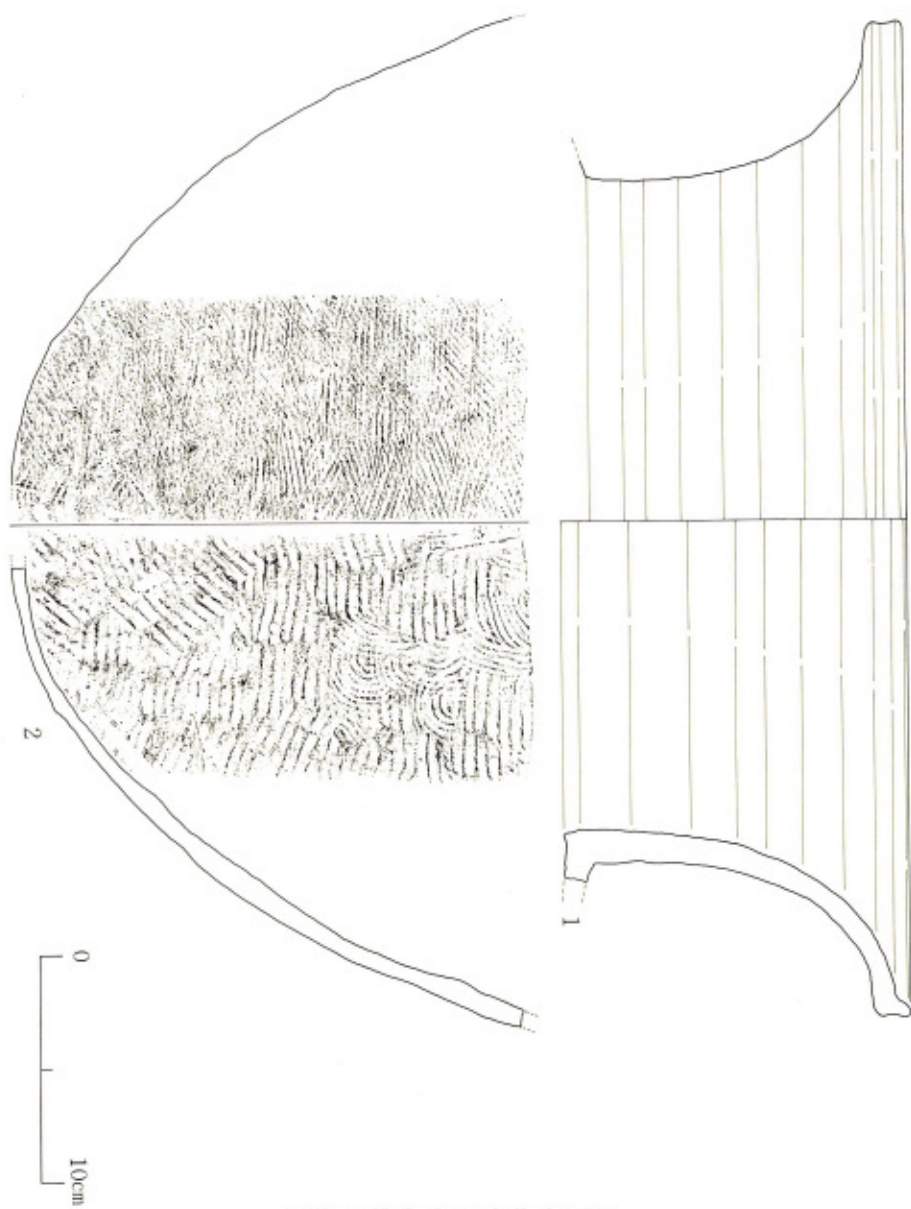


0 10cm

須衛7号窯(1), 須衛8号窯(2), 須衛9号窯(3~14), 須衛10号窯(15~17)出土遺物実測図



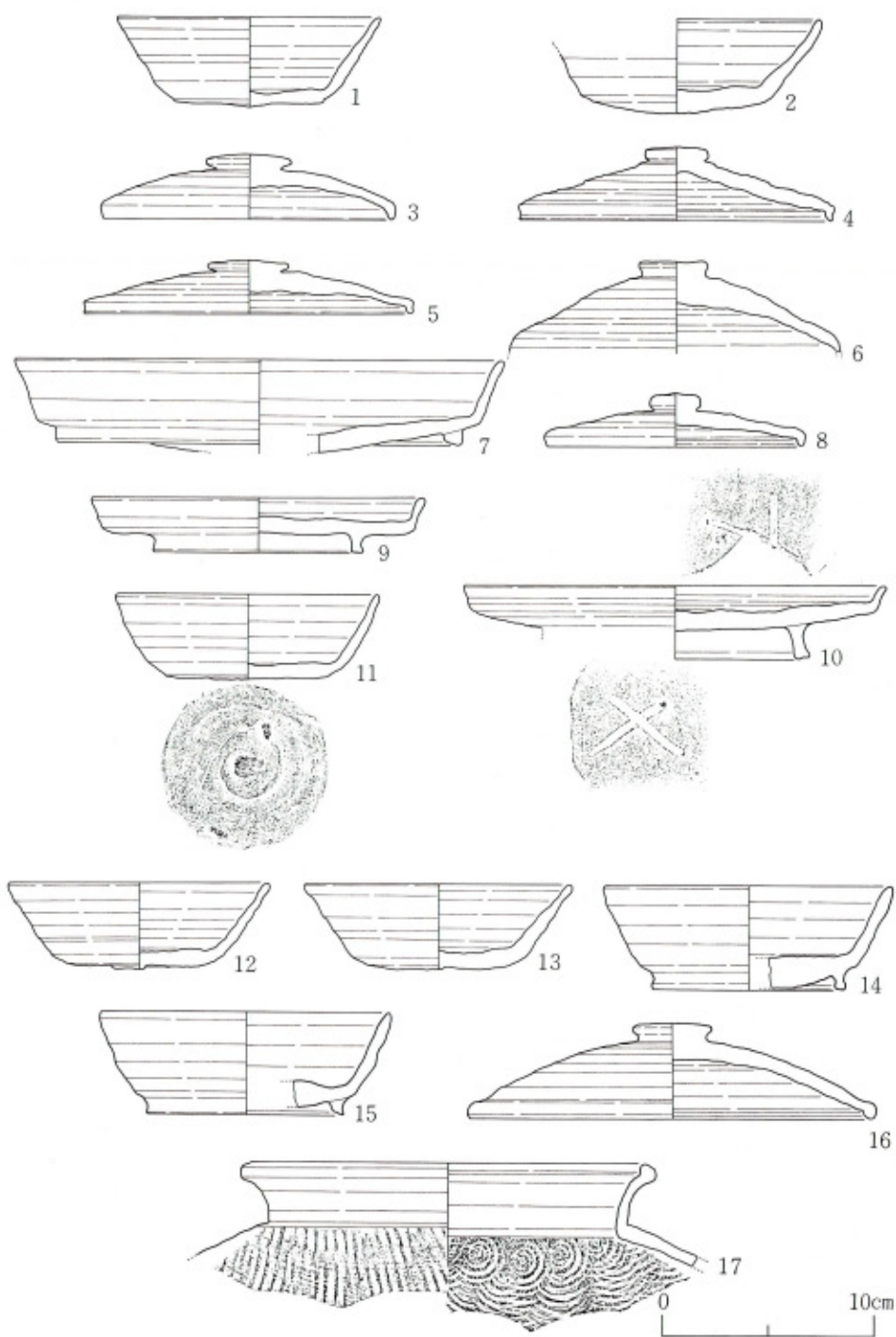
須衛10号窯出土遺物実測図



須衛10号窯出土遺物実測図

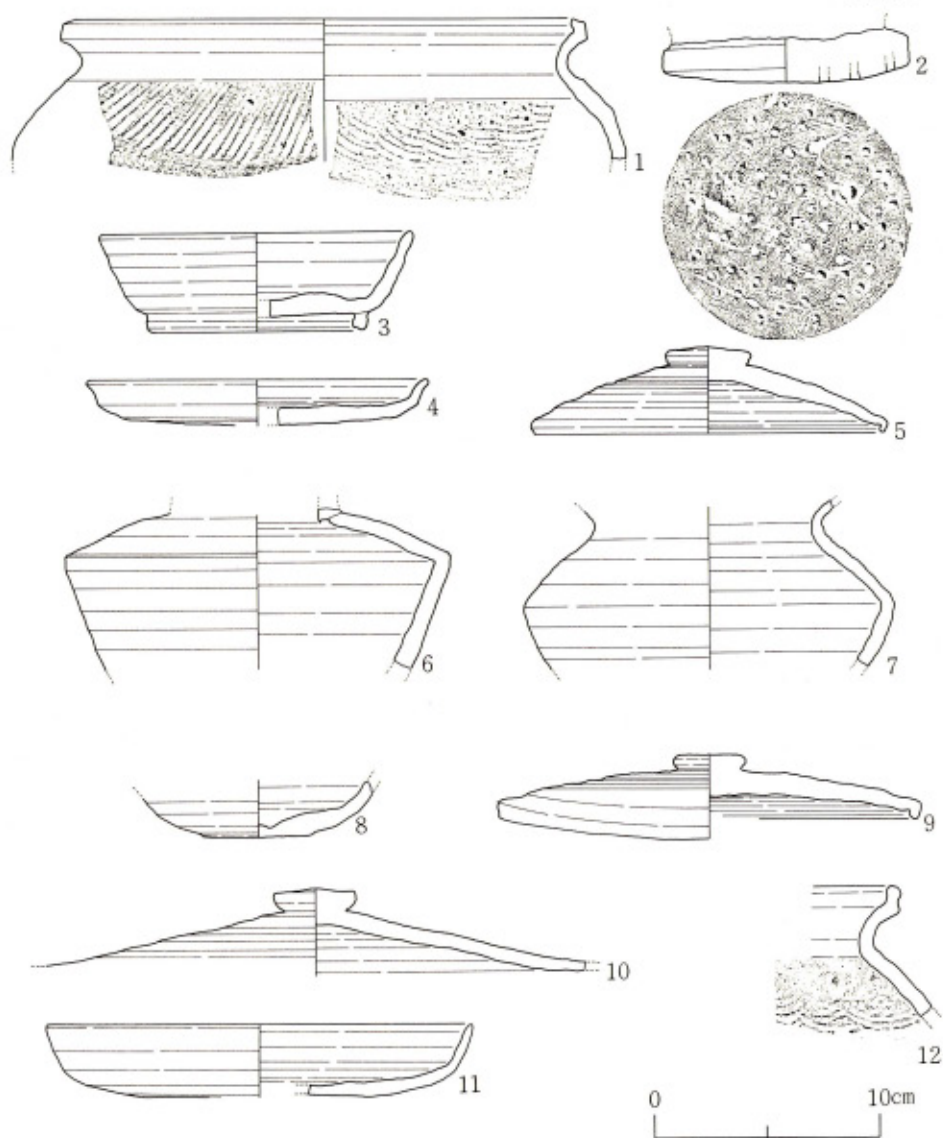


图版18

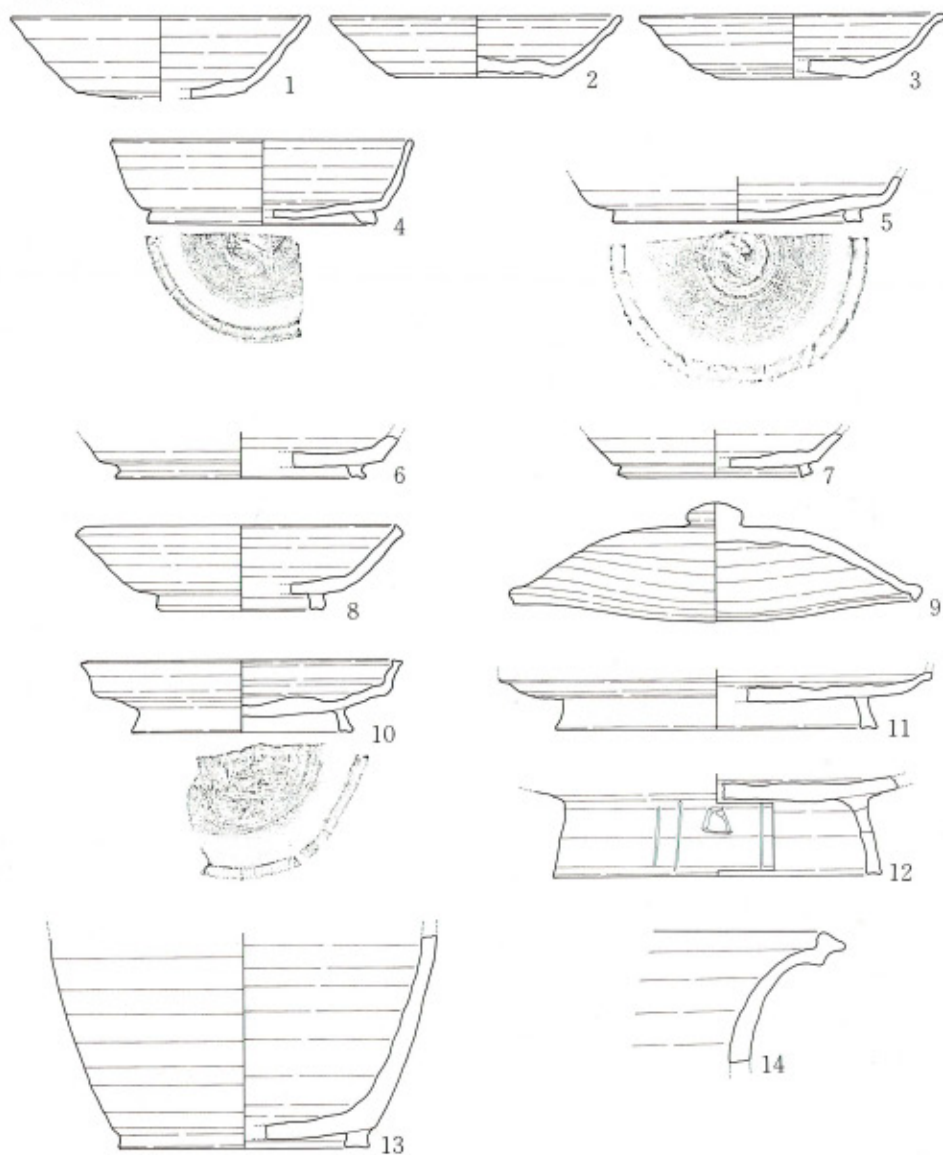


須衛11号窯(1~6), 須衛12号窯(7~10), 須衛18号窯(11~17)出土遺物実測図

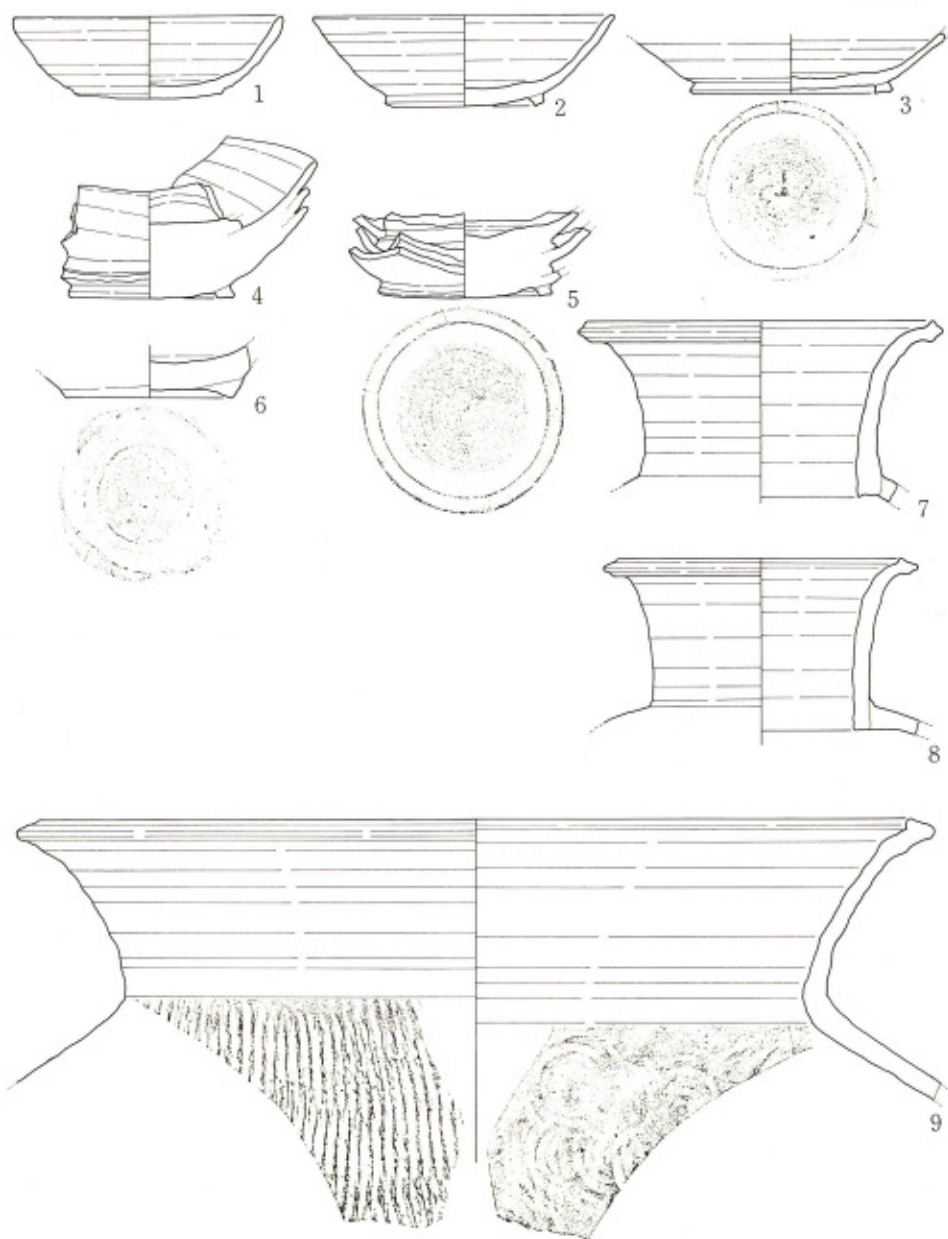




須衛18号窯(1・2), 須衛19号窯(3~7), 須衛20号窯(8~12)出土遺物実測図



須衛21号窯出土遺物実測図

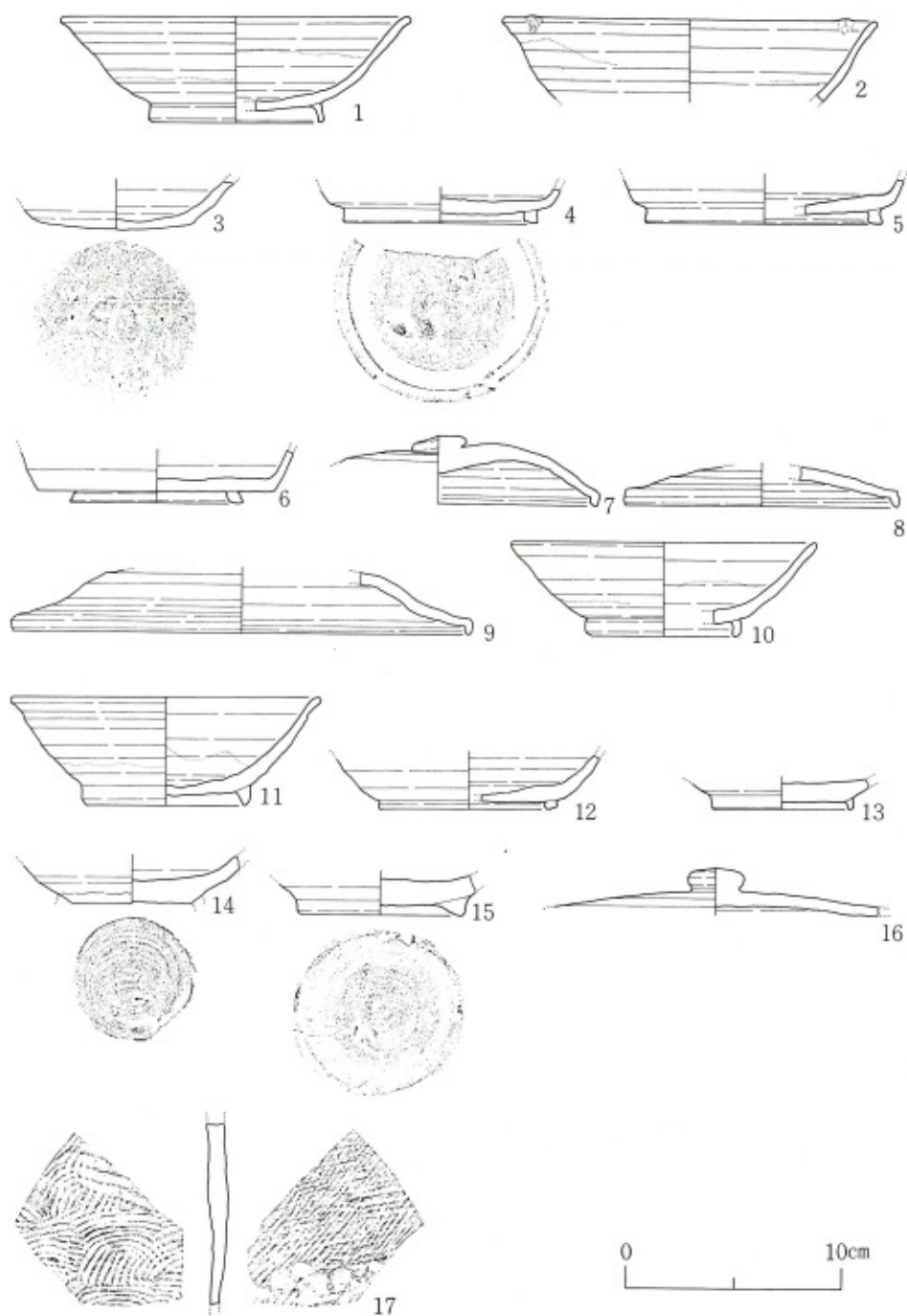


0 10cm

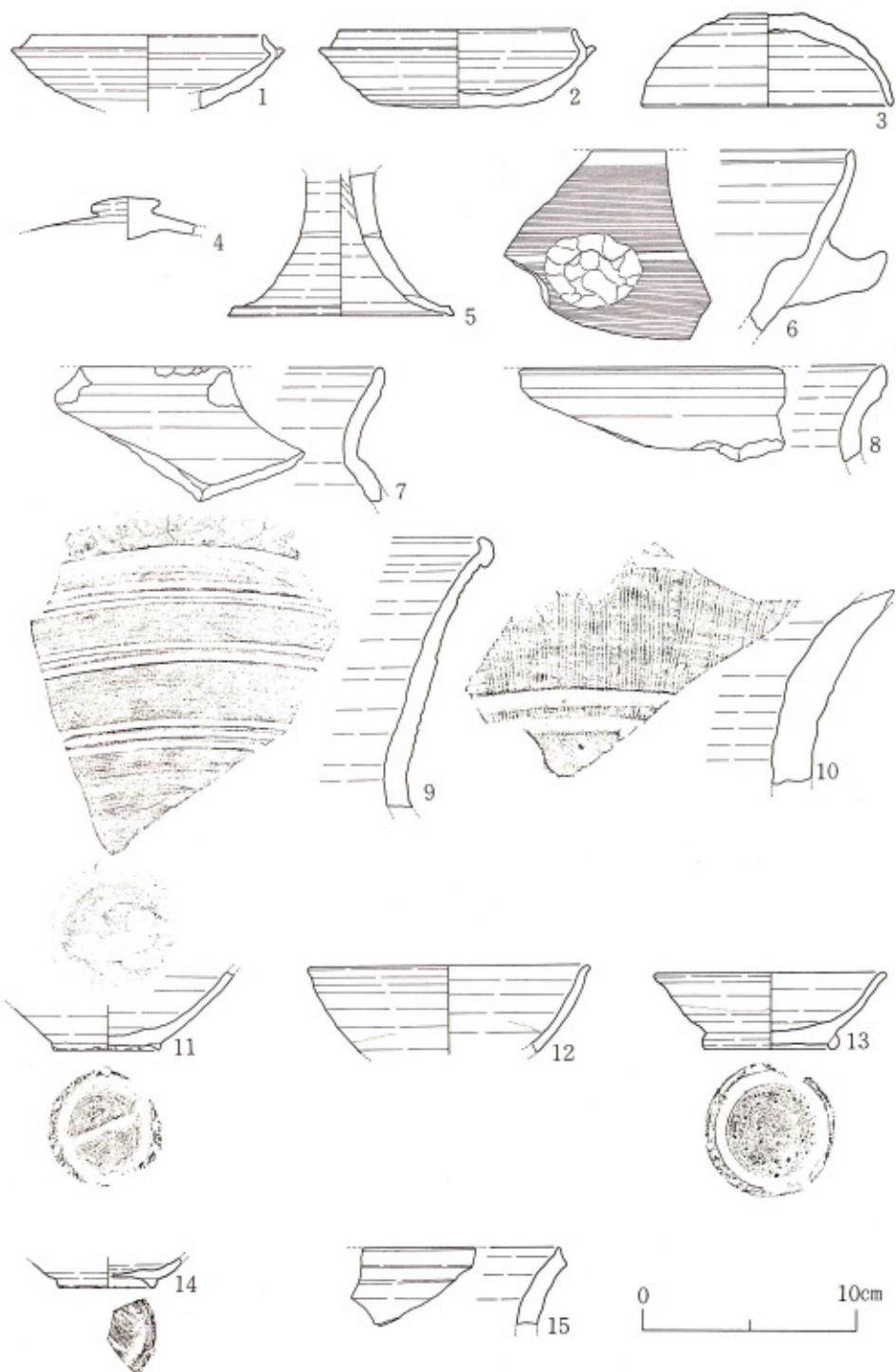
須衛22号窯出土遺物実測図



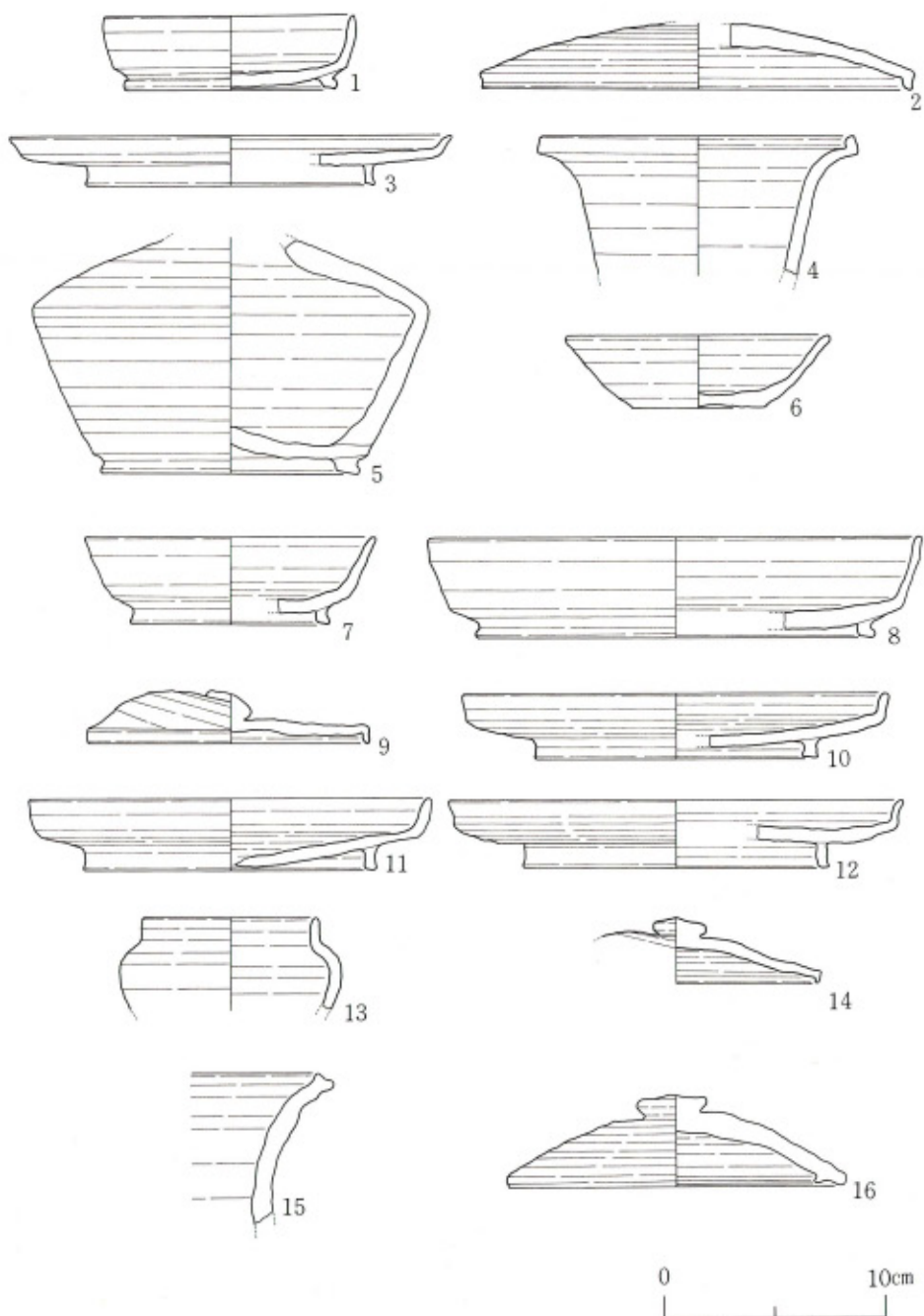
图版22



須衛23号窯(1・2), 須衛25号窯(3~9), 須衛26号窯10, 須衛27号窯11, 須衛29~32号窯(12~17)出土遺物実測図

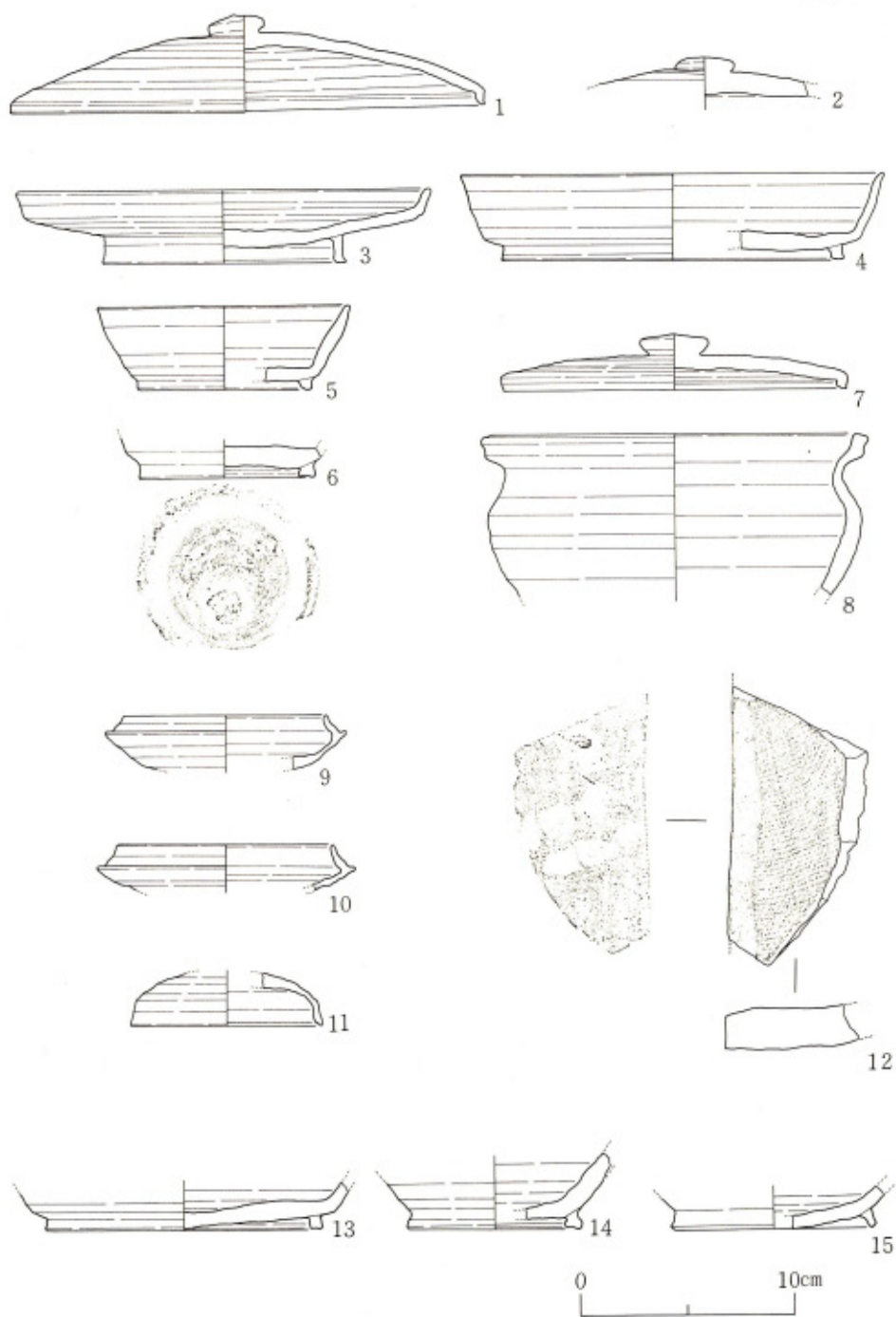


須衛33号窯(1~10), 須衛34号窯(11), 須衛35号窯(12~15)出土遺物実測図

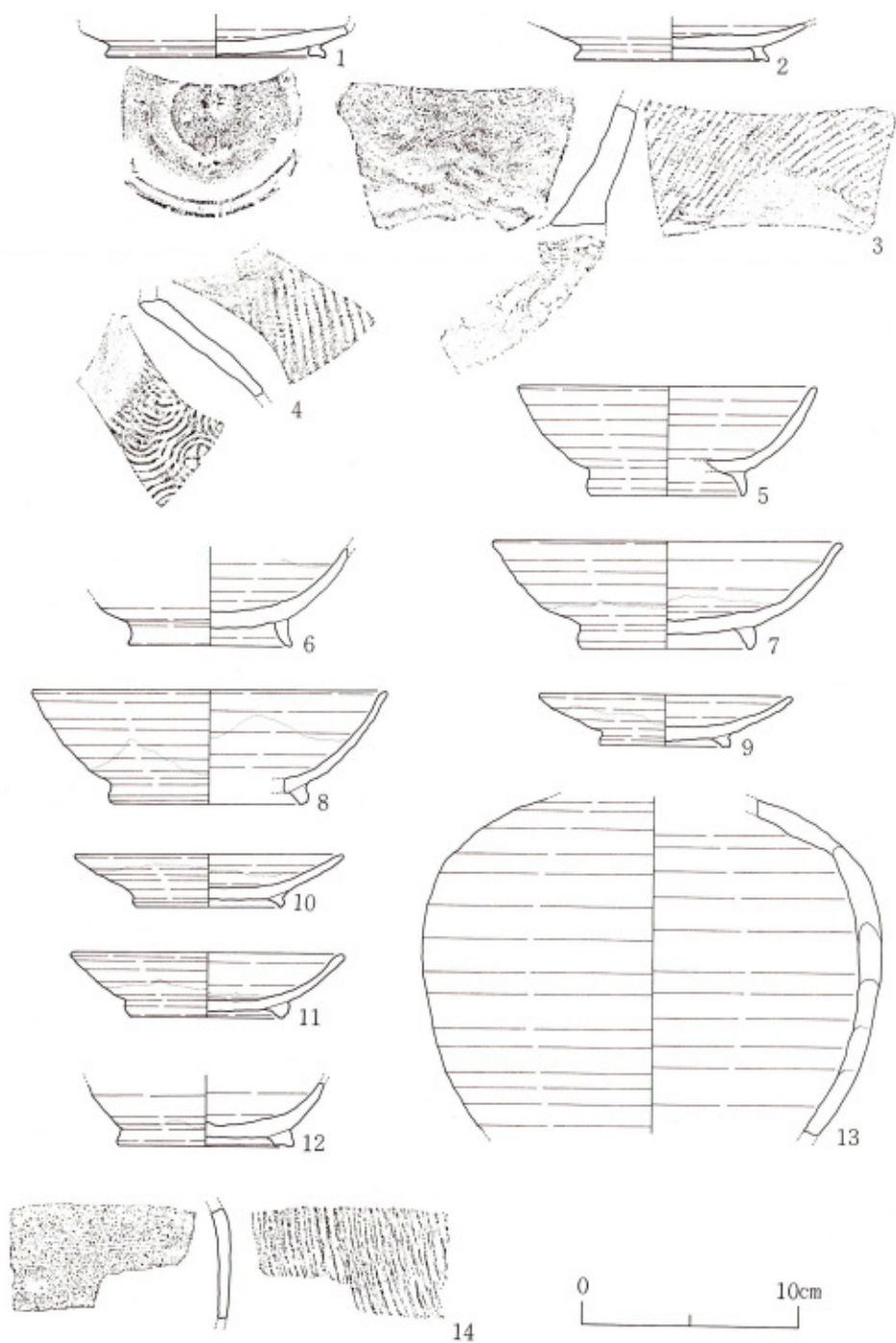


須衛36号窯(1~5), 須衛37号窯(6~13), 須衛38号窯④, 須衛40号窯①, 須衛41号窯⑥出土物実測図

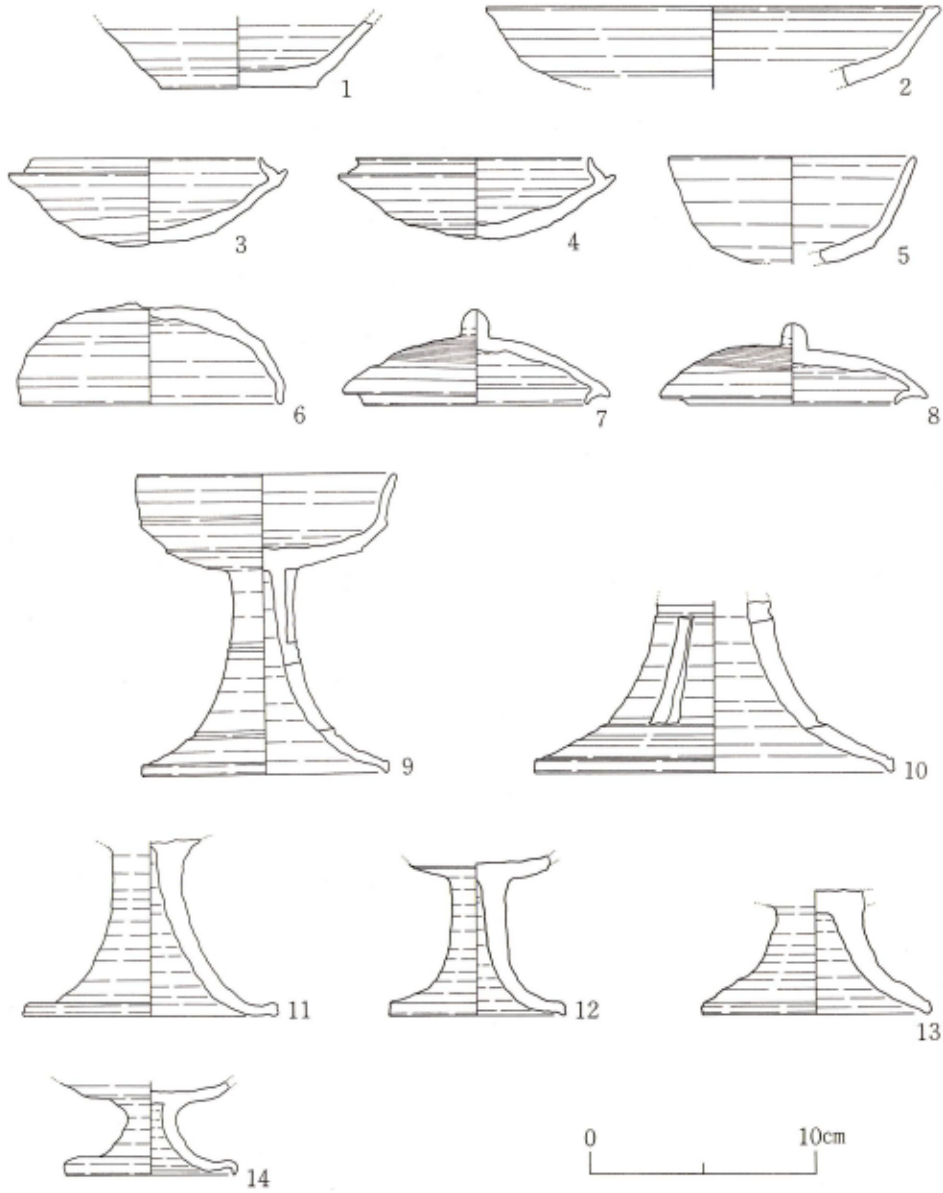




須衛42号(1~3), 須衛43(4), 須衛42~49号窯(5~8), 須衛50号窯(9), 須衛51号窯(10~12), 須衛53号窯(13~15)出土遺物実測図

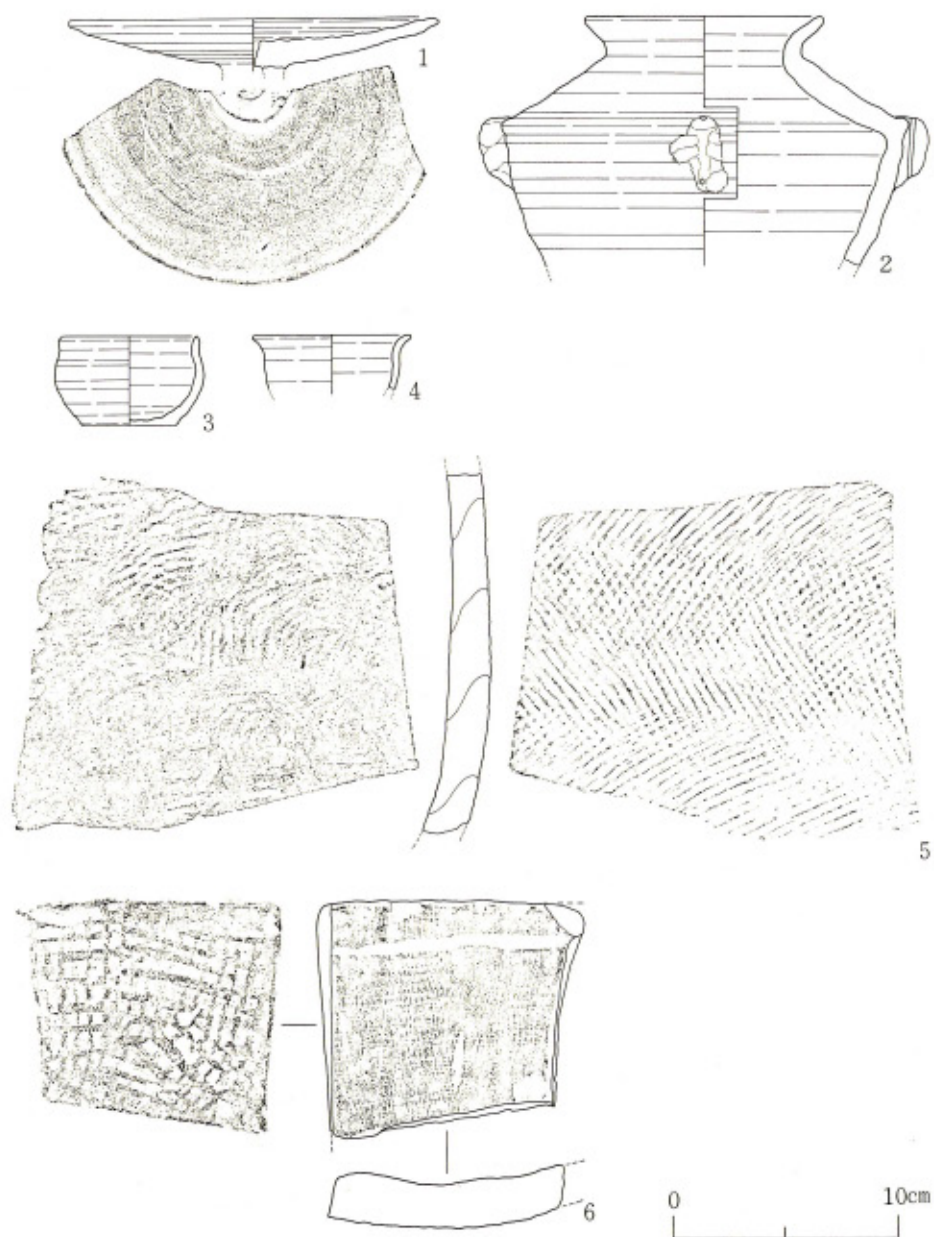


須衛59号窯(1~4), 須衛62号窯(5~14)出土遺物実測図

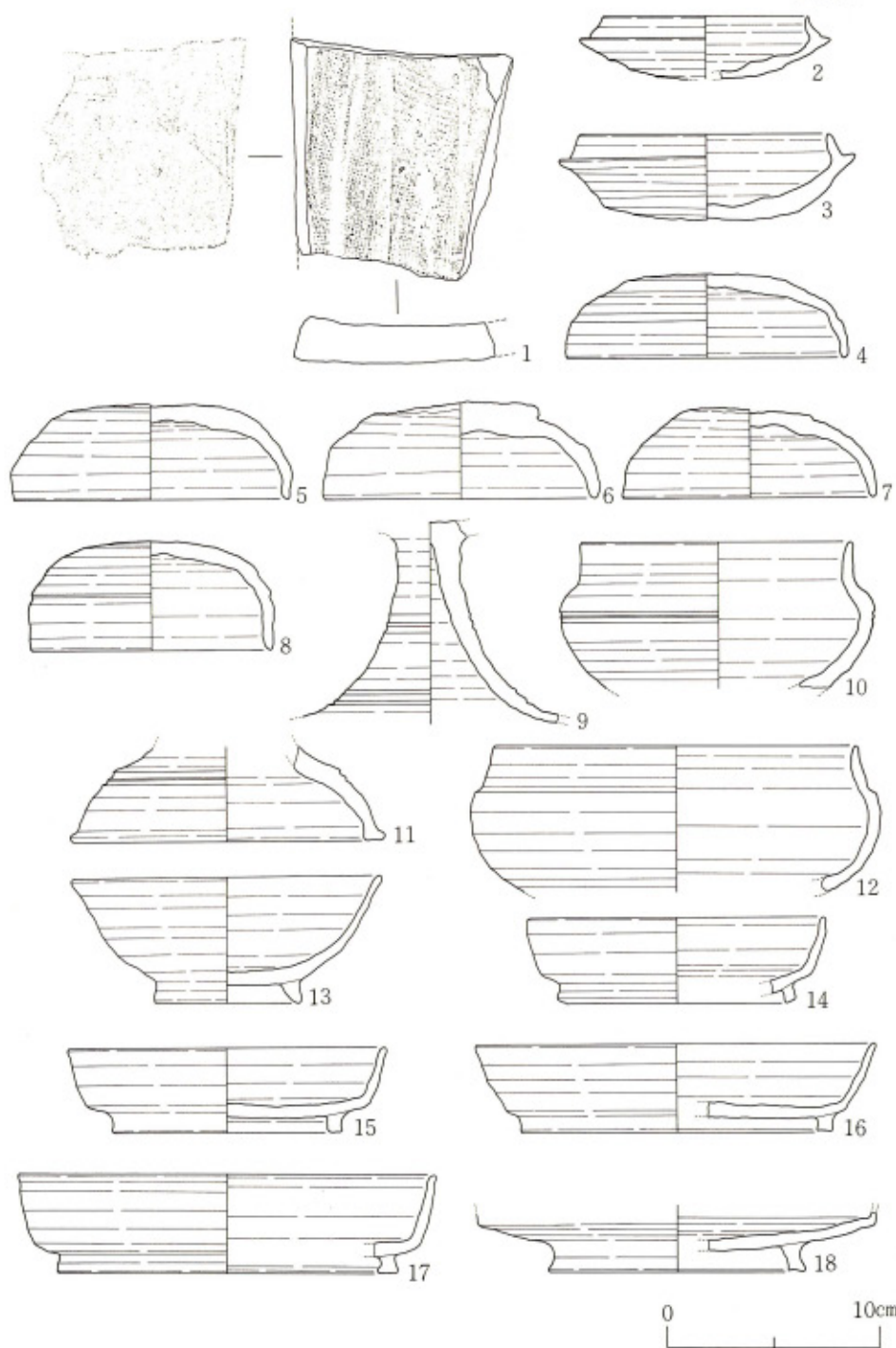


須衛63号窯(1・2), 須衛65号窯(3~14)出土遺物実測図

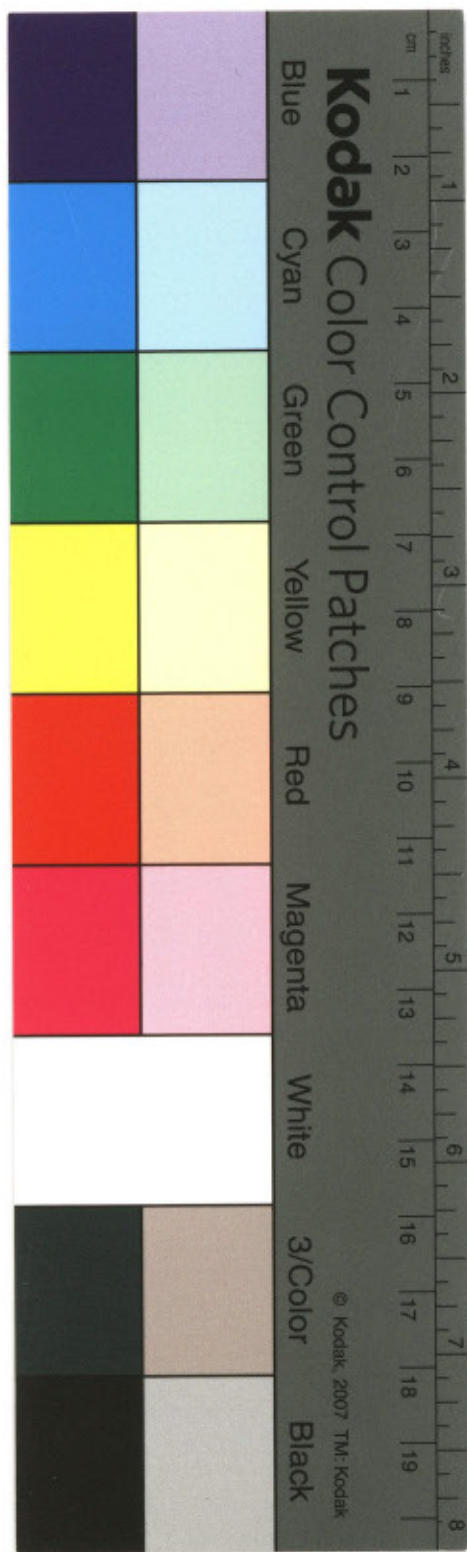




















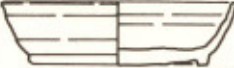



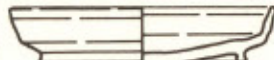








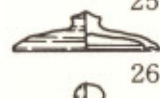
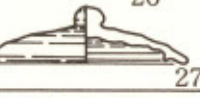






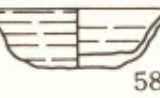




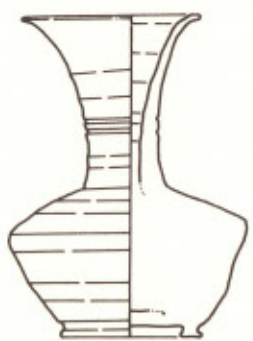
須衛21~25号窯周辺採集(1・2), 蘇原1号窯(3~5), 蘇原2号窯(6)出土遺物実測図



蘇原2号窯(1), 蘇原6号窯(2~12), 那加2号窯(13), 那加3号窯(14~18)出土遺物実測図



		蓋	地
600 II 期	後	 1	 3
	半	 2	 6
650 III 期	前	 9	 11
	半	 10	
	後	 21	 23
		 22	 24
700 第 1	後	 28	
	半	 36	 37
700	第	 46	 53
		 47	 54
		 48	 55
	1	 49	 50
		 51	 52

類	碗類	長頸
 <p>7</p>		
 <p>12</p>  <p>13</p>  <p>14</p>		
 <p>25</p>  <p>26</p>  <p>27</p>		
 <p>38</p>  <p>39</p>  <p>40</p>  <p>41</p>		
 <p>56</p>  <p>57</p>  <p>58</p>  <p>59</p>  <p>60</p>  <p>61</p>  <p>62</p>  <p>63</p>		



瓶

罍

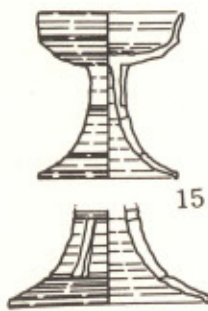
高

坏

盤



8



15



17



19



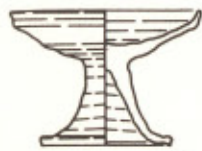
16



18



20



29



30



32



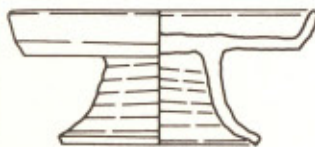
31



33



42



43



44



45



64

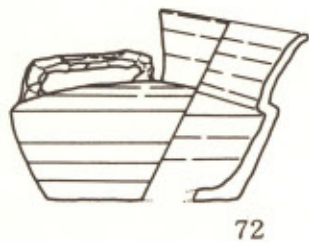
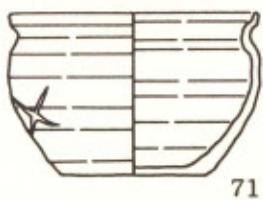
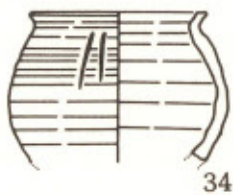


65

類

鉢 類

平 瓶 横





2

4

6

7

9

窯(1~6), 各務6号窯(7~9)出土遺物





各務7号窯(1~6), 須衛1号窯(7・8)出土遺物





須衛1号窯(1~3), 須衛2号窯(4・5)出土遺物



1

2



4



5

3



6

須衛 2 号窯出土遺物





2



4



6

須衛2号窯(1・2), 須衛3号窯(3~6)出土遺物



1



2



3



5



4



6



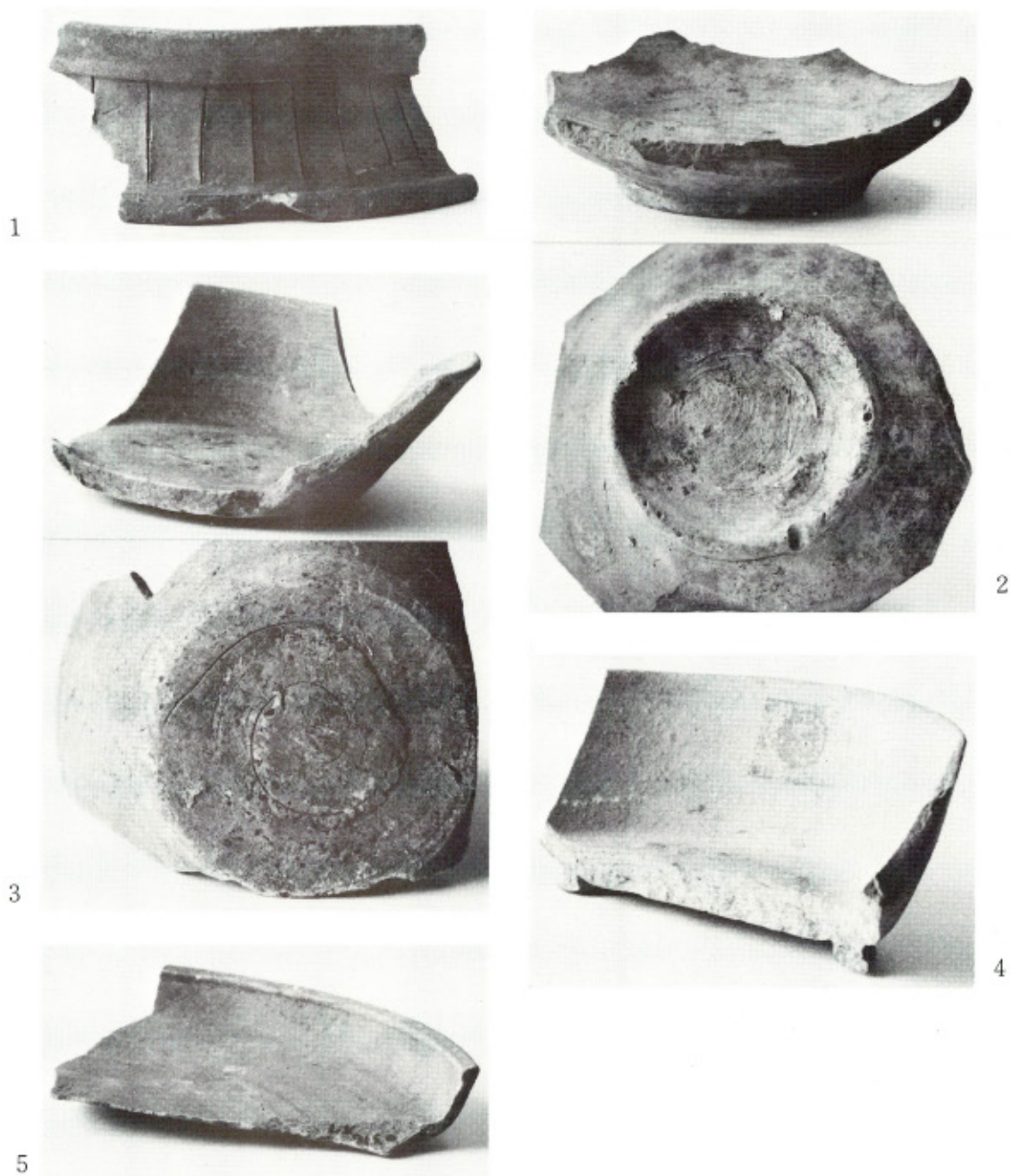
7



8

須衛4号窯(1・2), 須衛6号窯(3・4), 須衛7号窯(5~8)出土遺物





須衛7号窯(1), 須衛8号窯(2), 須衛9号窯(3~5)出土遺物



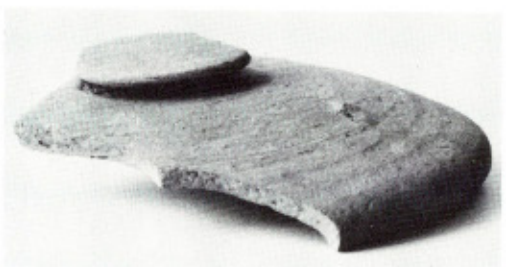
須衛10号窯出土遺物



1



2



3



4



5



6

須衛11号窯出土遺物





須衛12号窯(1・2), 須衛18号窯(3・4)出土遺物





須衛18号窯(1~3), 須衛20号窯(4・5)出土遺物



須衛22号窯出土遺物





1



2



4



3



5



6

須衛22号窯(1~3), 須衛23号窯(4), 須衛27号窯(5), 須衛36号窯(6)出土遺物





須衛37号窯(1~4), 須衛38号窯(5), 須衛41号窯(6)出土遺物

図版48



須衛42号窯(1・2), 須衛50号窯(3), 須衛62号窯(4~8)出土遺物





1



2



3



4



5



6



7

須衛65号窯出土遺物





1



2



3



4



5

須衛65号窯(1~3), 須衛21~25号窯付近(4・5)出土遺物



1

2



3

4

蘇原2号窯(1・2), 蘇原6号窯(3・4)出土遺物





蘇原 6 号窯出土遺物





1



2



3



4



5



6



7

蘇原6号窯(1~4), 那加2号窯(5), 那加3号窯(6・7)出土遺物



---

各務原市資料調査報告書第4号  
美濃須衛古窯跡群資料調査報告書

昭和59年3月22日

昭和60年3月15日（再版）

編集◎ 各務原市教育委員会  
発刊

各務原市那加桜町1丁目69番地

☎ <0583> 83-1111（内）736

振替 名古屋 5-731 各務原市

印刷

㈱ イナバ印刷社  
各務原市三井東町1-15-1

---









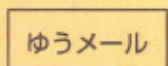


付録 1枚

「美濃須街古窯跡群資料調査報告書」



料金後納



ゆうメール

謹呈

504-0911

各務原市那加門前町3-1-3

各務原市立図書館御中

俳句雑誌

# 梅檀

梅檀発行所

〒504-0911

各務原市那加門前町3-88-1-401

辻 恵美子方 (Tel/Fax) 058-371-2164

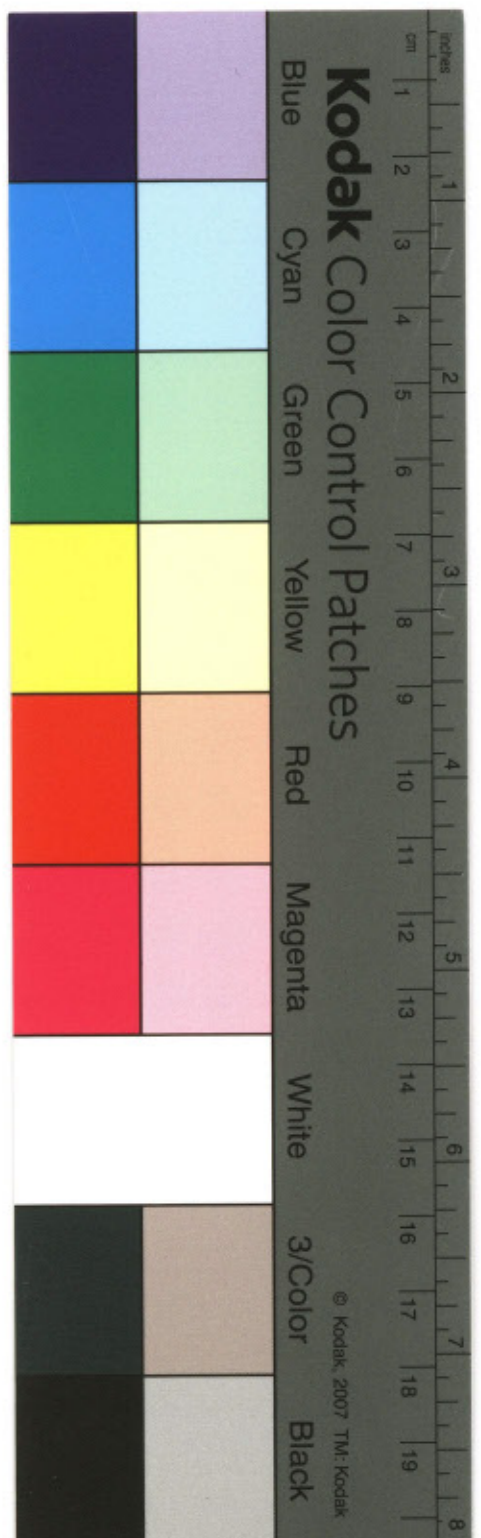
H P : <http://sendan819.sakura.ne.jp/>

郵便振替 00890-8-68296

(発送元：山興印刷株式会社 〒504-0854 各務原市蘇原野口町3丁目5番地)



	蓋 环 類	碗 類	長 頸 瓶	罍	高 环	盤 類	鉢 類	平 瓶 横 瓶
600 II 期 後 半	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7				8			
650 III 期 前 半	9, 10, 11, 12, 13, 14				15, 16, 17, 18, 19, 20			
	21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28				29, 30, 31, 32, 33		34	35
700 IV 期 後 半	36, 37, 38, 39, 40, 41			42	43, 44, 45			
	46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62		63		64, 65	66, 67	68, 69, 70, 71	72
750 IV 期 小 期	73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94	95, 96	97	98, 99	100, 101	102	103, 104, 105	106, 107, 108
	109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124	125, 126	127, 128		129, 130	131, 132	133, 134, 135	136
800 IV 期 第 2 期	137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146		147		148, 149, 150	151, 152, 153	154	155
	156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168	169, 170	171, 172		173, 174	175, 176, 177	178, 179, 180	181
850 IV 期 第 3 期	182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197	199, 200, 201, 202, 203	206, 208		209, 210, 211	212, 213, 214, 215	216, 217, 218, 219	220, 221
	198, 199, 200, 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215							





IV 期	小				
	第2				
	750-期				
	第3				
V 期	小				
	800-期				
	第1				
	小				

**備考** 1～8・蘇原6号窯，9～20・須衛65号窯，21～35・尾崎大平古窯跡群第2号窯，36～45・尾崎大平古窯跡群第1号窯，46～72・地獄洞古窯跡，73～101・103～108・老洞古窯跡群1号窯，102・老洞古窯跡群2号窯，109～126・128～135・稲田山古窯跡群第15号窯，127・136・稲田山古窯跡群第11号窯，137～155・稲田山古窯跡群第14号窯，156～181・稲田山古窯跡群第12号窯，182～222・稲田山古窯跡群第13号窯，223～254・稲田山古窯跡群第1号窯，255～286・稲田山古窯跡群第2号窯，287～304・稲田山古窯跡群第3号窯。  
 老洞古窯跡群1・2号窯出土遺物は、『老洞古窯跡群発掘調査報告書』（岐阜市教育委員会）からの転載である。  
 本表に用いた実測図は、老洞古窯跡群1・2号窯出土遺物以外はすべて実物の6分の1に統一した。  
 本編年表は、各時期において比較的器種の特徴を把握しやすい資料のみを掲載しているため、全体の器種構成についてはそれぞれの報告書や『各務原市史』（考古・民俗編 考古）を参照されたい。

付図 美濃須衛古窯跡群須恵器編年表(案)